

令和5年度「まちかどコメンテーター」 アンケート調査結果

<抜粋版>

鹿児島市

・第4回

- 1 市民活動について（市民協働課）
- 2 食育について（保健政策課）
- 3 ペットに関する意識調査について（生活衛生課）

目 次

I	調査の概要.....	1
II	市民活動について.....	4
III	食育について.....	17
IV	ペットに関する意識調査について	25

I 調査の概要

1. まちかどコメンテーターの概要

(1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めていただくことも目的としています。

(2) まちかどコメンテーターの選定方法

市内に住むか、通勤・通学する 18 歳以上の方を対象とし、一般公募及び住民基本台帳から無作為抽出した市民 2,500 人への就任依頼において、応募・承諾いただいた方により構成しています。

(3) 任期

令和 5 年 6 月 1 日～令和 6 年 5 月 31 日

(4) 人数

401 人（第 4 回調査実施時点）

(5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

2. 第4回調査の概要

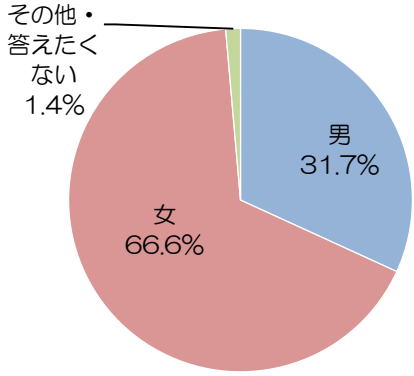
(1) 調査概要

テーマ/担当課	市民活動について	市民協働課
	食育について	保健政策課
	ペットに関する意識調査について	生活衛生課
調査期間	令和5年12月12日～令和6年1月5日	
回答率	72.3% (290人)	

(2) 回答者属性

① 性別

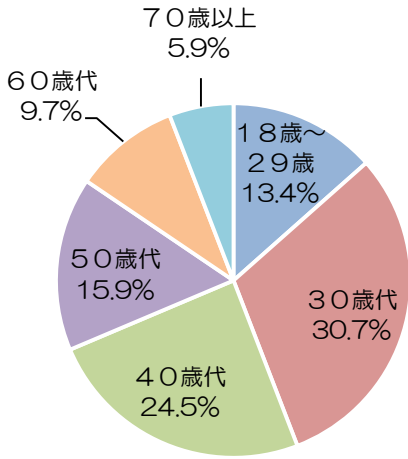
選択肢	回答数	割合
男	92	31.7%
女	193	66.6%
その他・答えたくない	4	1.4%
無回答	1	0.3%
サンプル数	290	100.0%



A pie chart illustrating the gender distribution of respondents. The largest segment is Female at 66.6%, followed by Male at 31.7%, and Other/Don't want to answer at 1.4%.

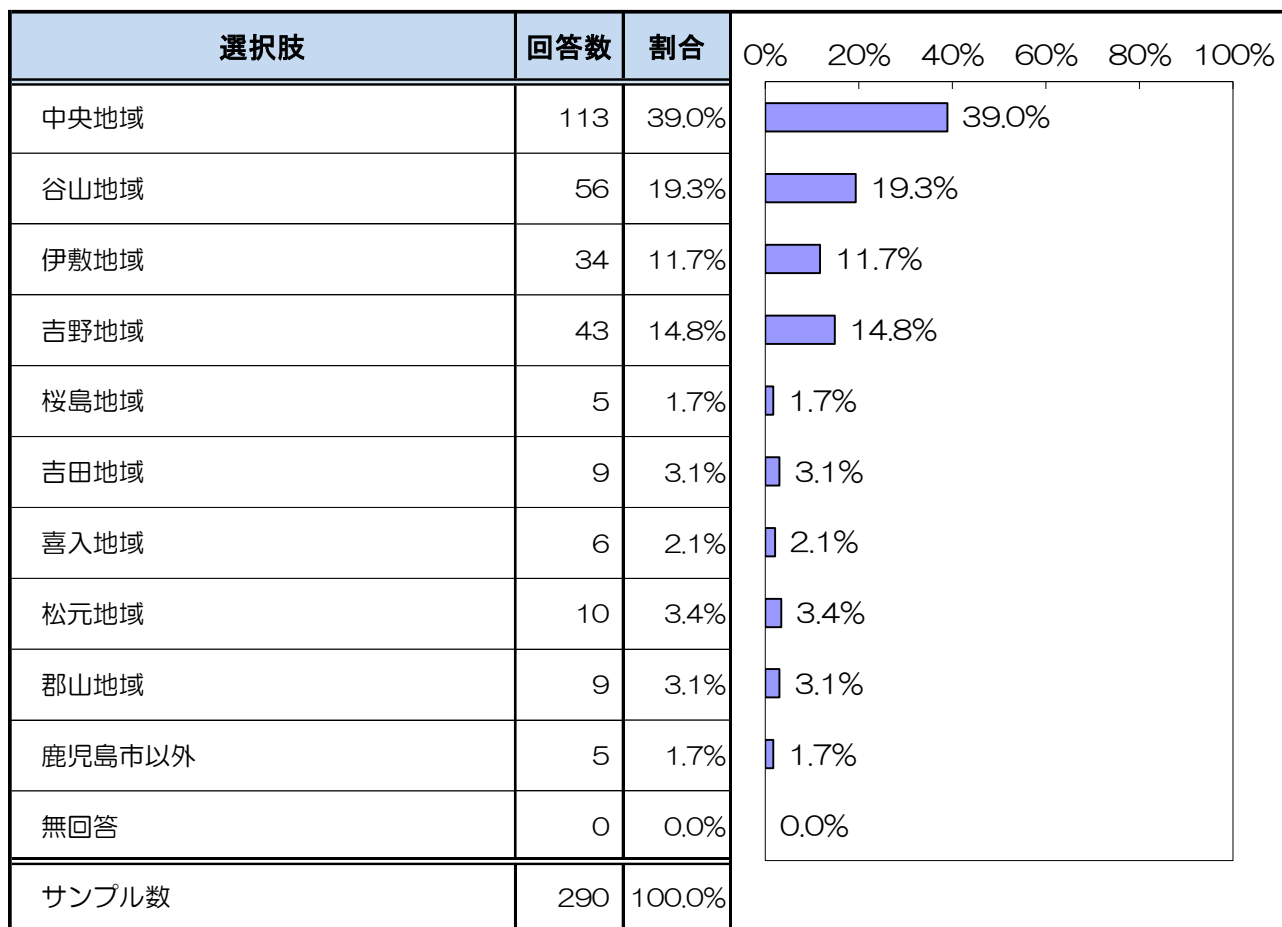
② 年代

選択肢	回答数	割合
18歳～29歳	39	13.4%
30歳代	89	30.7%
40歳代	71	24.5%
50歳代	46	15.9%
60歳代	28	9.7%
70歳以上	17	5.9%
無回答	0	0.0%
サンプル数	290	100.0%



A pie chart illustrating the age distribution of respondents. The largest segment is the 30s age group at 30.7%, followed by the 40s age group at 24.5%, and the 18-29 age group at 13.4%.

③ 居住地域



3. 報告書上の留意点

- ・ 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。
- ・ 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。
- ・ 設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合があります。
- ・ 不適切な表現がみられた意見については、一部削除しています。

Ⅱ 市民活動について

1. 調査の目的

鹿児島市では、昨年からスタートした第六次総合計画の中で、「信頼とやさしさのある共創のまち」を基本目標の一つに掲げ、市民が主役の鹿児島市の実現を基本に、市民や、NPO法人等の市民活動団体、事業者など多様な主体が、協働・連携し、新しい価値をともに創るまちづくりを進めていくこととしています。

今後の施策等の参考とするため、市民の皆様には市民活動への参加状況等についてお聞きするアンケート調査を実施しました。

2. 調査結果を受けて担当課（市民協働課）からのコメント

市民活動について、多くのご回答やご意見をいただき誠にありがとうございます。

市民活動については、半数の方が経験されており、そのうち約8割の方が町内会などの地域組織の活動に参加したと回答されました。市民活動を行ったことがない理由としては、「きっかけや機会がない」が63.8%と最も高く、次いで、「忙しくて時間がない」、「活動に関する情報が得られない」の順となりました。

また、市民活動に関心がある方は65.6%、今後市民活動に参加や協力をしたいと思う人は、「出来る範囲であれば参加・協力したい」も含めると81.7%と非常に高い結果となりました。

今後、市民活動を行いやすい環境づくりを進めるために重要なこととして、「時間等の制約が緩和され、自分の生活に合わせて活動できること」、「各種情報が容易に入手できること」、「気軽に市民活動団体の活動に参加できること」が挙げられ、自由意見では、どんな市民活動団体があり、どのような活動をしているかが分からないという声が多く寄せられました。

市民活動に関する情報発信については、現在鹿児島市HPや市民協働課Facebookで行っておりますが、今回の調査結果を参考に、今後市民活動を活性化させる取組を検討してまいります。

3. 調査結果

問1 あなたは、これまでに市民活動を経験したことがありますか。

(ひとつだけ)

「現在行っている」が20.3%、「現在は行っていないが、以前行ったことがある」が31.0%、「これまで行ったことがない」が48.6%となっている。

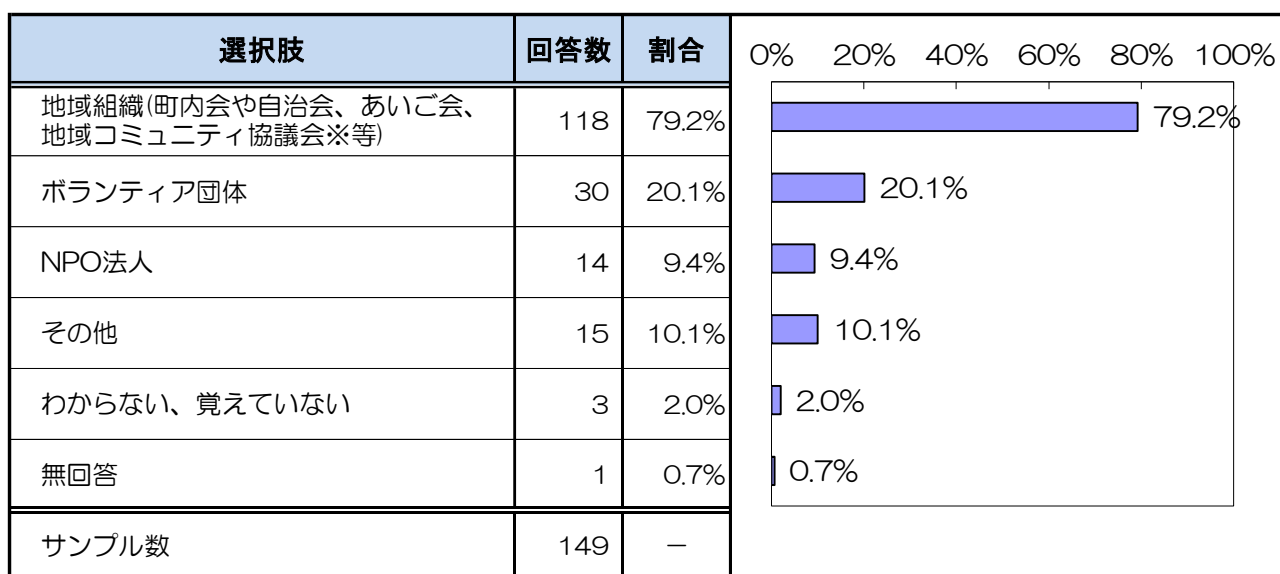
選択肢	回答数	割合
現在行っている	59	20.3%
現在は行っていないが、以前行ったことがある	90	31.0%
これまで行ったことがない	141	48.6%
無回答	0	0.0%
サンプル数	290	100.0%

選択肢	割合
現在行っている	20.3%
現在は行っていないが、以前行ったことがある	31.0%
これまで行ったことがない	48.6%
無回答	0.0%

問2 【問1で「現在行っている」または「現在は行っていないが、以前行ったことがある」のいずれかを選んだ方（市民活動を経験したことがある方）にお伺いします。】

あなたは、どのような団体の市民活動に参加されましたか。
（いくつでも）

「地域組織(町内会や自治会、あいご会、地域コミュニティ協議会※等)」が79.2%と最も高く、次いで、「ボランティア団体」の20.1%、「その他」の10.1%の順となっている。



※ 地域コミュニティ協議会とは、町内会やあいご会、高齢者クラブ、NPO、福祉施設など、小学校区内で活動している各種団体が、連携・協力して地域課題へ取り組むために設立された組織です。

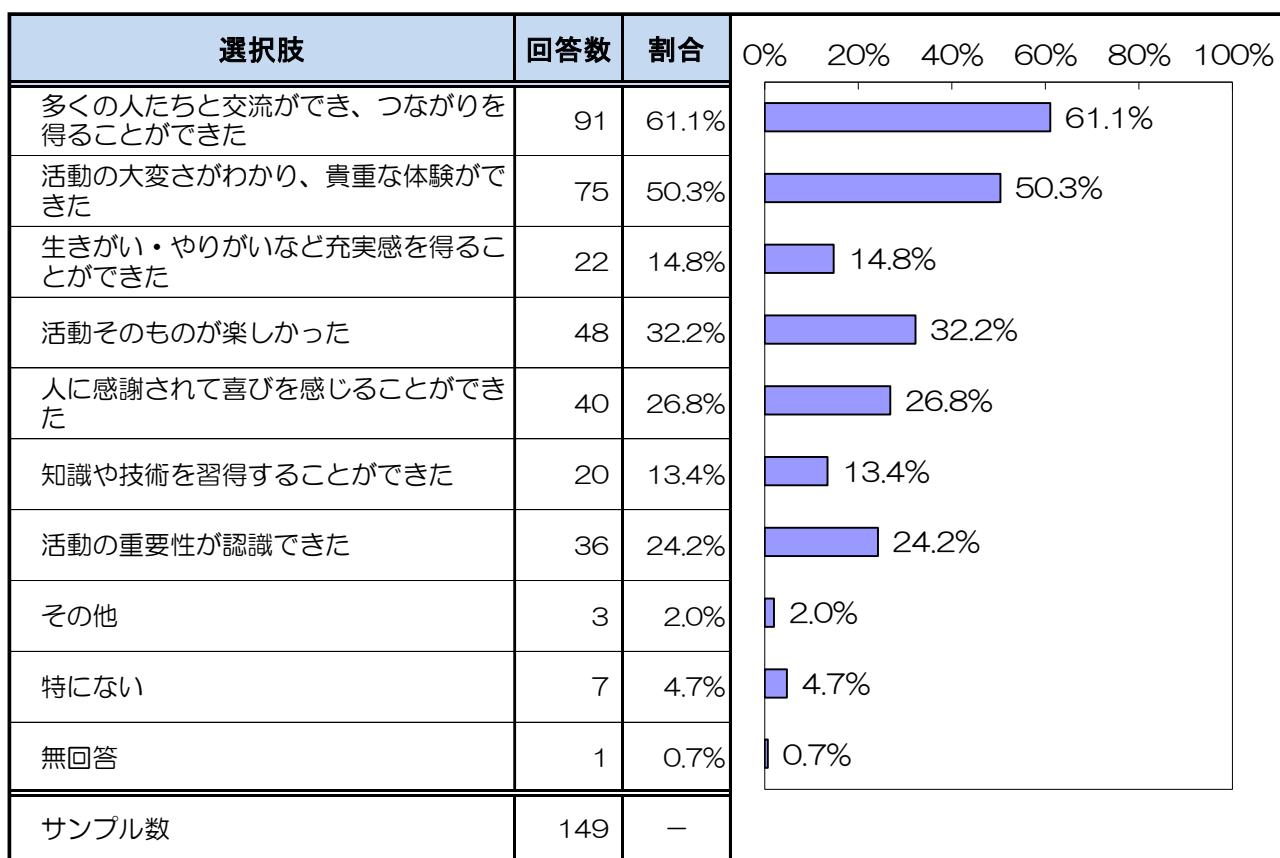
◆その他の回答（原文まま）

- ・ イベント事業
- ・ おごじよ会秋まつり、吉田地域運動会、あいご会十五夜、コミュニティ協議会
- ・ 個人でボランティア活動
- ・ マジックショーのボランティア歴、55年。
- ・ ミューFMの海岸清掃
- ・ 公益社団法人鹿児島法人会
- ・ 会社のボランティア活動
- ・ 会社の有志による清掃ボランティア
- ・ 国体や見守り
- ・ 子供食堂に月一回、食糧を届けて、クリスマスに本を届けています。
- ・ 寺泊のゴミ拾いボランティア
- ・ 自主活動
- ・ 鹿児島国体ボランティア
- ・ 文化活動
- ・ 労働組合による、最低賃金引き上げについて。

問3 【問1で「現在行っている」または「現在は行っていないが、以前行ったことがある」のいずれかを選んだ方（市民活動を経験したことがある方）にお伺いします。】

あなたが市民活動を行って良かったと感じられたことは何ですか。
（いくつでも）

「多くの人たちと交流ができ、つながりを得ることができた」が 61.1%と最も高く、次いで、「活動の大変さがわかり、貴重な体験ができた」の 50.3%、「活動そのものが楽しかった」の 32.2%の順となっている。



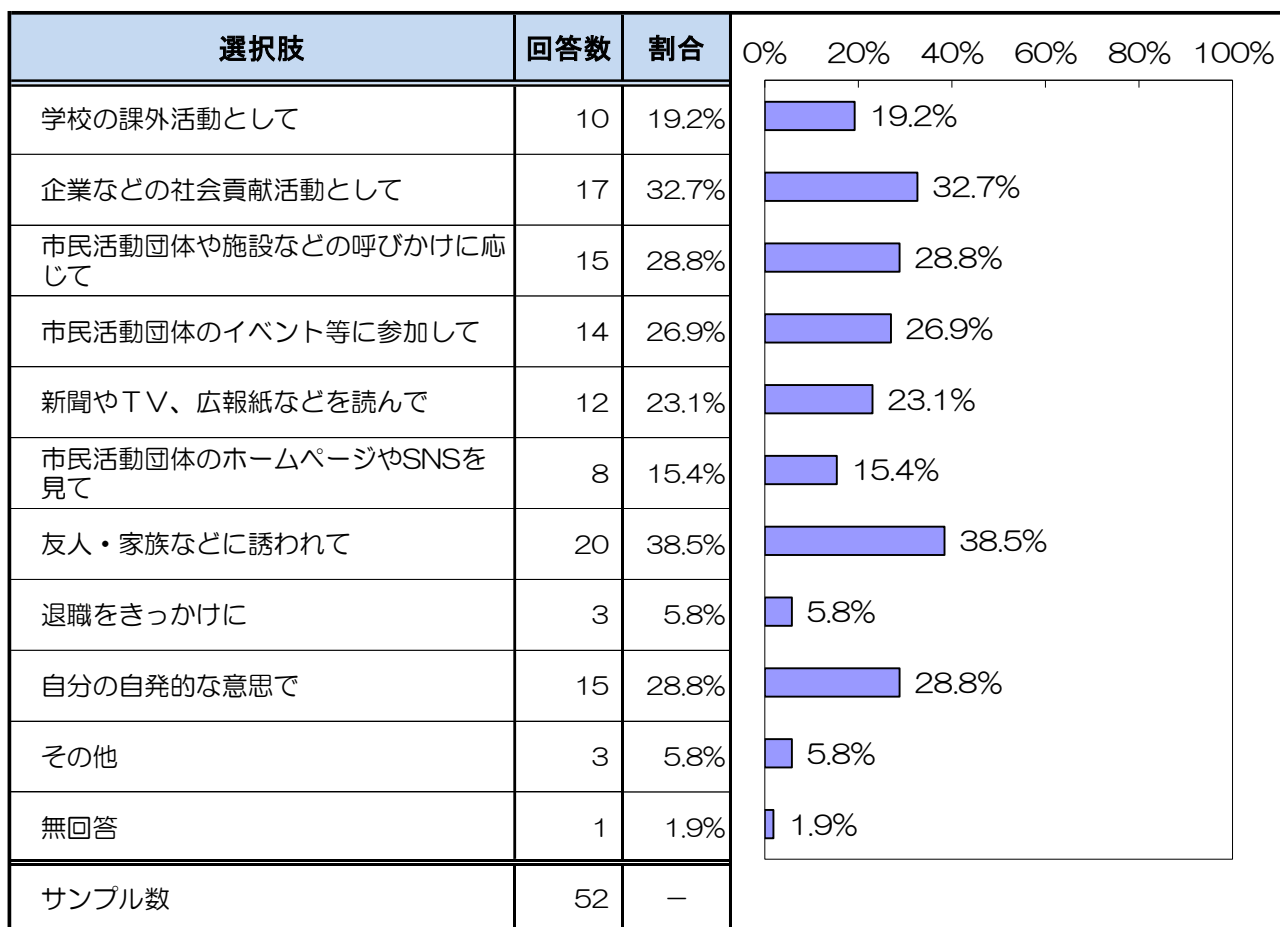
◆その他の回答（原文まま）

- ・鹿児島では、自治体（県、市町村）が如何に仕事を行っていないか（サボっている）かが良く理解できる事。又、自治体からの正式な情報にも多くのフェイクが入っていることが分かる事。
- ・地域活性化して欲しいとの願い。
- ・付き合いで入っているが、正直必要性を感じない。会費だけ取られ子供に還元もなく、高齢者に消費される。

問4 【問2で「ボランティア団体」「NPO法人」「その他」のいずれかを選んだ方にお伺いします。】

あなたが地域組織以外で市民活動を行うようになったきっかけは何ですか。(いくつでも)

「友人・家族などに誘われて」が38.5%と最も高く、次いで、「企業などの社会貢献活動として」の32.7%、「市民活動団体や施設などの呼びかけに応じて」「自分の自発的な意思で」の28.8%の順となっている。



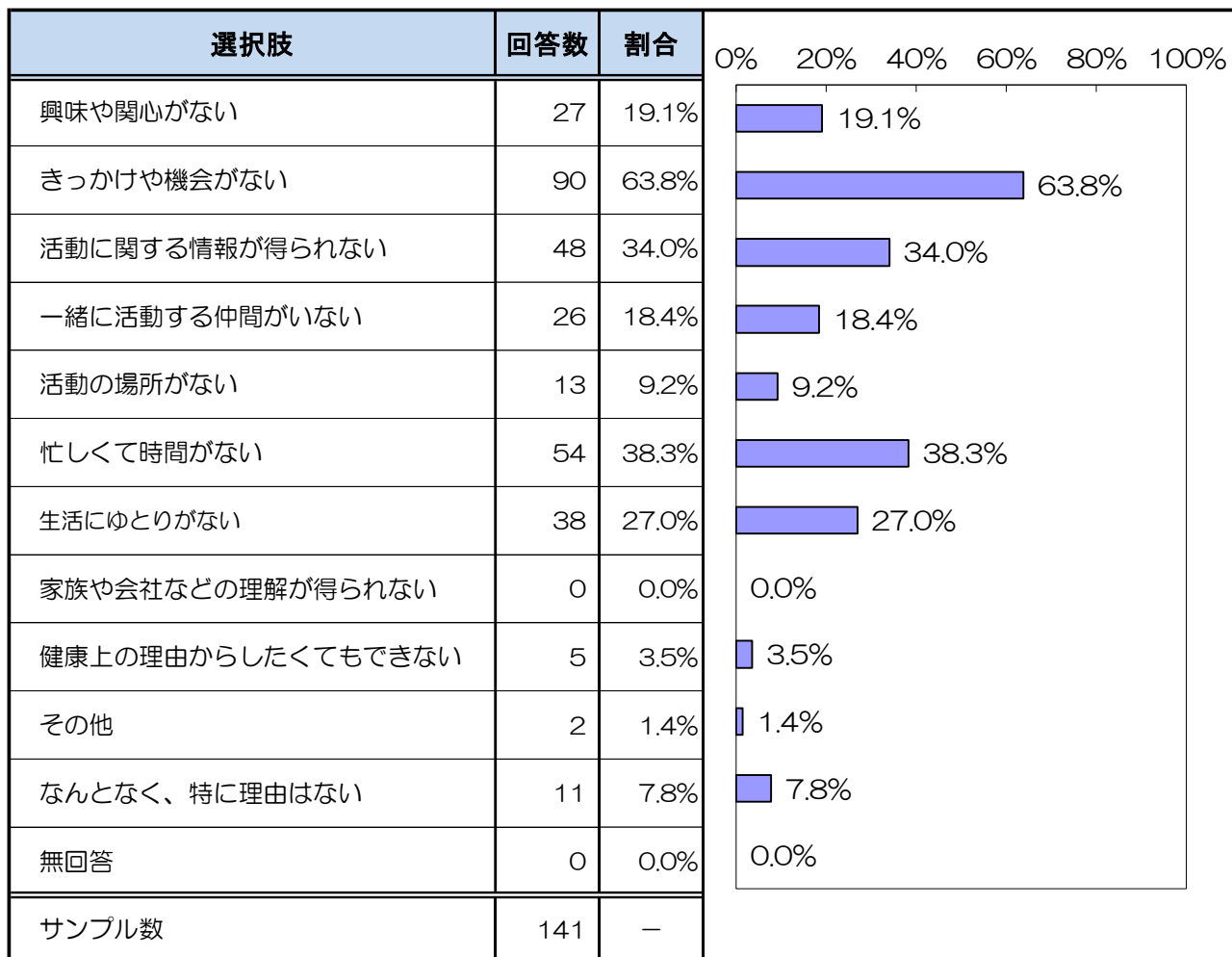
◆その他の回答（原文まま）

- ・地域の現状、実情を知って。
- ・自治会の高齢化が進み、仕方なく行っている。それなのに、TOP3役は高齢者が手放さない。仕事と両立できない（時間が無い）ので、本当はやりたくない。
- ・人を信頼して自然にやりたと思った

問5 【問1で「これまで行ったことがない」を選んだ方（市民活動の経験がない方）にお伺いします。】

あなたが、これまでに市民活動を行ったことがない理由は何ですか。
（いくつでも）

「きっかけや機会がない」が63.8%と最も高く、次いで、「忙しくて時間がない」の38.3%、「活動に関する情報が得られない」の34.0%の順となっている。



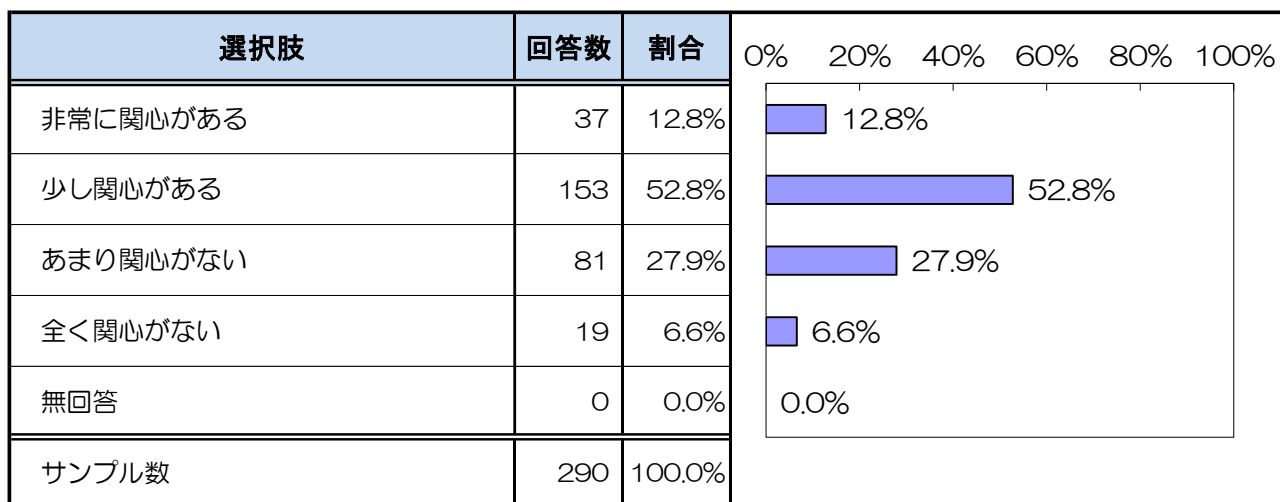
◆その他の回答（原文まま）

- ・交通が不便、遠い。
- ・団体行動や組織に所属することを好まない。ひとりで自主的にやる活動はできる

問6 【問6からはすべての方にお伺いします。】

あなたは、市民活動にどの程度関心がありますか。(ひとつだけ)

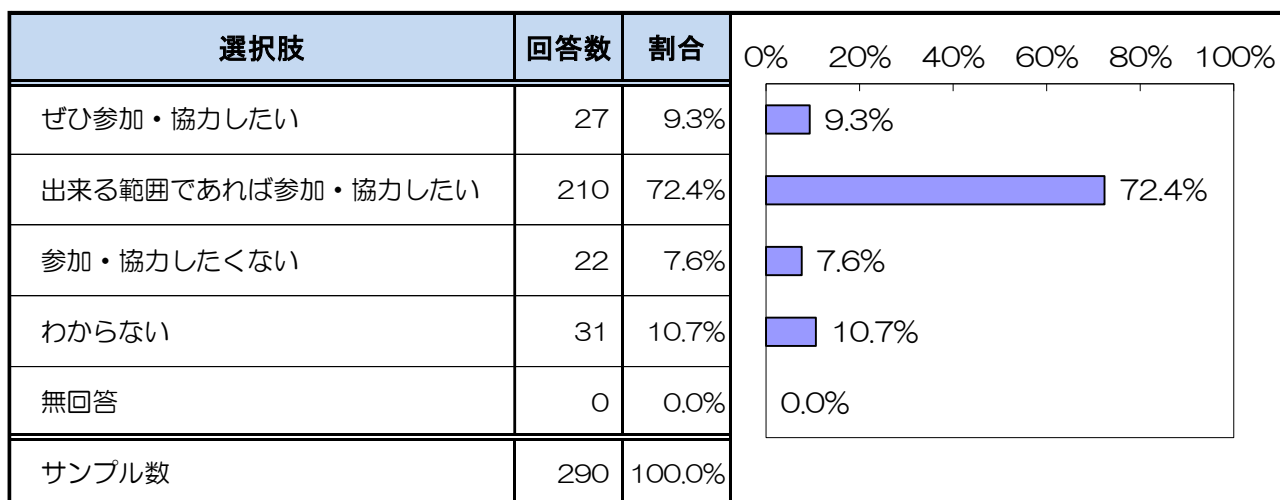
「少し関心がある」が52.8%と最も高く、次いで、「あまり関心がない」の27.9%、「非常に関心がある」の12.8%の順となっている。



問7 今後、市民活動に参加や協力したいと思いますか。(ひとつだけ)

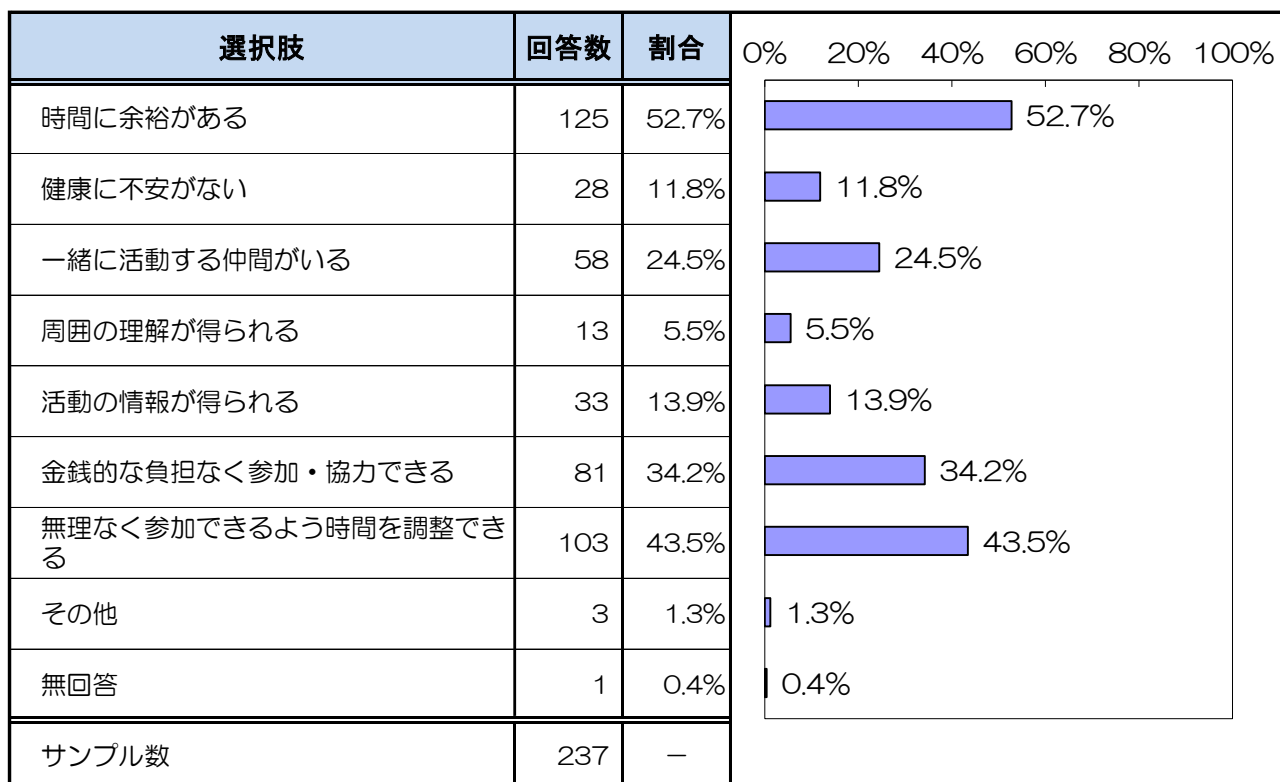
(協力の例：寄附や賛助会員、物品や労力の提供、広報協力など)

「出来る範囲であれば参加・協力したい」が72.4%と最も高く、次いで、「わからない」の10.7%、「ぜひ参加・協力したい」の9.3%の順となっている。



問8 【問7で「ぜひ参加・協力したい」または「出来る範囲であれば参加・協力したい」（参加・協力したい）を選んだ方にお伺いします。】
あなたは、どのようなことが整えば、市民活動に参加・協力したいと思いますか。（2つまで）

「時間に余裕がある」が52.7%と最も高く、次いで、「無理なく参加できるよう時間を調整できる」の43.5%、「金銭的な負担なく参加・協力できる」の34.2%の順となっている。

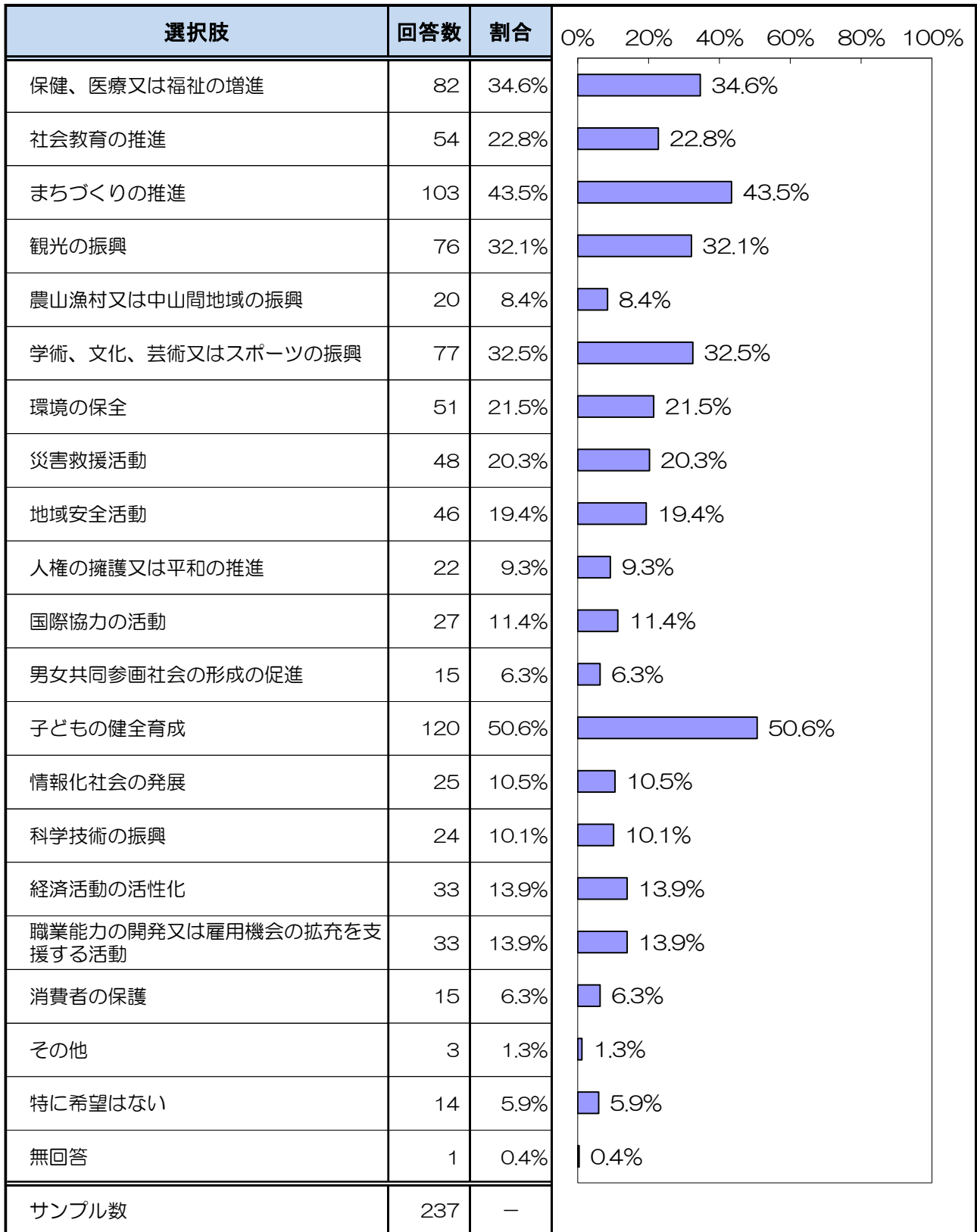


◆その他の回答（原文まま）

- ・ちゃんと自分にその情報が届けばやりたい。が、桜島で単身で働き盛りだと情報が入りにくい。どうにかして欲しい。
- ・ニーズがあればすぐにでも。
- ・地域活性化

問9 【問7で「ぜひ参加・協力したい」または「出来る範囲であれば参加・協力したい」（参加・協力したい）を選んだ方にお伺いします。】
あなたは、どのような市民活動に参加・協力したいと思いますか。
(いくつでも)

「子どもの健全育成」が 50.6%と最も高く、次いで、「まちづくりの推進」の 43.5%、「保健、医療又は福祉の増進」の 34.6%の順となっている。



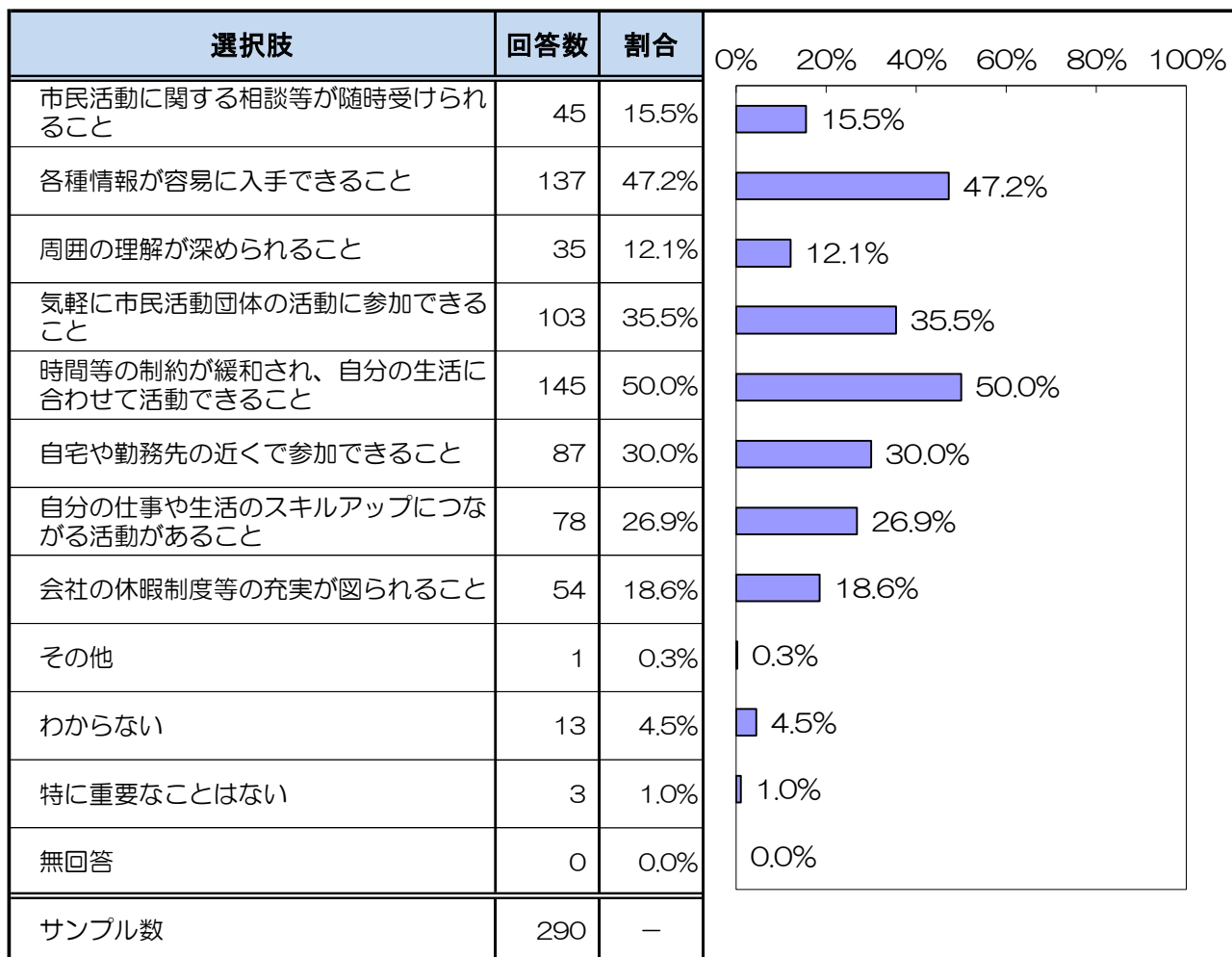
◆その他の回答（原文まま）

- ・市の主要事業のパブリックコメントへの参加
- ・障害者支援、福祉に関わる事、理解広めるとか交流も含む
- ・憲法改正反対に関する活動を今は特にやりたいです。

問10 【問10からはすべての方にお伺いします。】

あなたは、今後、市民活動を行いやすい環境づくりを進めるためには、どのようなことが特に重要であると思いますか。（3つまで）

「時間等の制約が緩和され、自分の生活に合わせて活動できること」が50.0%と最も高く、次いで、「各種情報が容易に入手できること」の47.2%、「気軽に市民活動団体の活動に参加できること」の35.5%の順となっている。

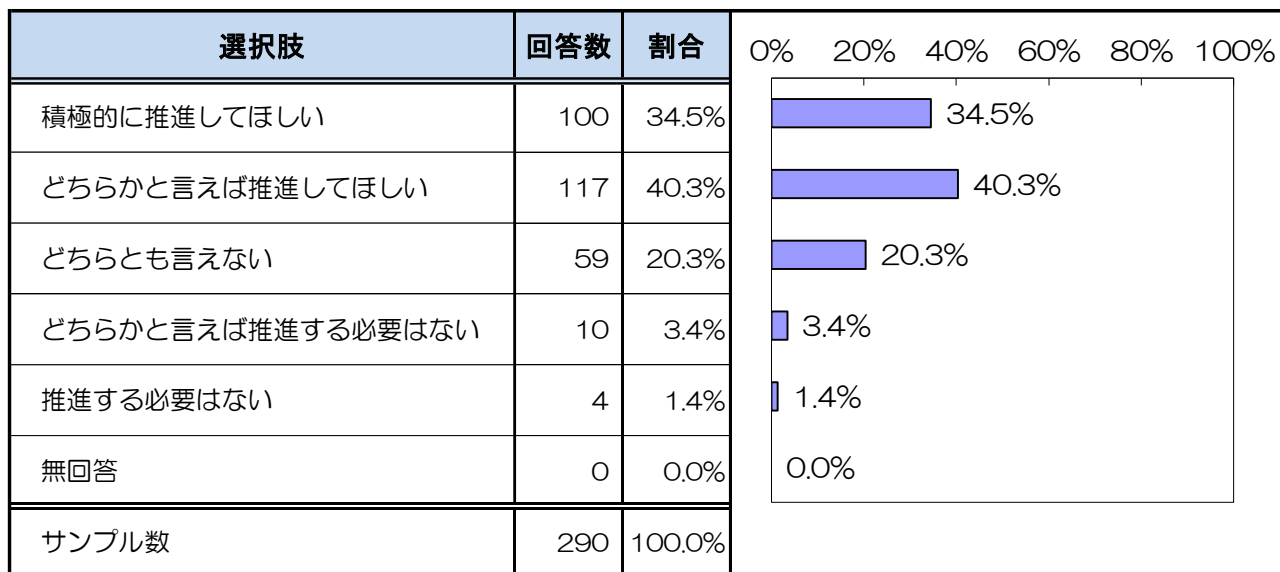


◆その他の回答（原文まま）

- ・市民活動を行わせる前に、自治体の職員が行えばよい。市民を使いたいのであれば、自治体が報酬を支払うべきである。

問 11 現在、企業では社会貢献活動として、清掃活動を行ったり、NPOやボランティア団体の活動に資金援助を行ったりしていますが、あなたは、企業の社会貢献活動についてどのようにお考えになりますか。
(ひとつだけ)

「どちらかと言えば推進してほしい」が40.3%と最も高く、次いで、「積極的に推進してほしい」の34.5%、「どちらとも言えない」の20.3%の順となっている。



問 12 市民活動の活性化に関するご意見・ご要望などございましたらご自由にお書きください。(任意回答)

◆回答一覧 (一部抜粋・原文まま)

回答内容	性別	年代	地域
どんな団体があり、どんな活動をしているかを知らないので、情報提供をしてほしい。市民の広場や SNS など誰でも目にすることができるようにすれば参加者は増えるのでは？職場の理解が得られるように推進して欲しい。参加したらポイント等がもらえて行政の支援が受けられるようなシステムが欲しい。	女	50 歳代	中央地域
継続的でなく、スポット的にでも気軽に参加できるものが増えるとよいと思う。(ゴミ拾いなど)	女	30 歳代	中央地域
宣伝告知が全く足りないと思う。どんなものがどの様に行われているか、興味ある人は自分自身で調べるとは思うが、そうでない大多数の人は何も知らないし調べることもしない。そういう人達でも自然と目に、耳に情報が入る様になれば興味持って参加する人が出てくるかもしれないです。	男	40 歳代	谷山地域

Ⅲ 食育について

1. 調査の目的

本市では、第四次かごしま市食育推進計画に基づき、「食を通じて健康で、生き生きと生活できる活力あるかごしま市の実現」を基本理念に、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進していきます。

今後の施策等の参考とするため、アンケート調査を実施させていただきました。

2. 調査結果を受けて担当課（保健政策課）からのコメント

「食育」について、関心がある方（「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した方）は88.9%、「栄養バランス等に気をつけた食生活」を心がけている（「十分に心がけている」「心がけている」と回答した方）は73.1%でした。その一方で、「かごしま食の健康応援店」を知っている方は13.1%と低く、外食の際に「栄養バランス」を重視している方も23.1%と低い状況でした。

また、「地産地消」の言葉も意味も知っている方は89.3%でしたが、地産地消を実践している方（地場産物を優先して購入している方）は47.2%と約半数でした。

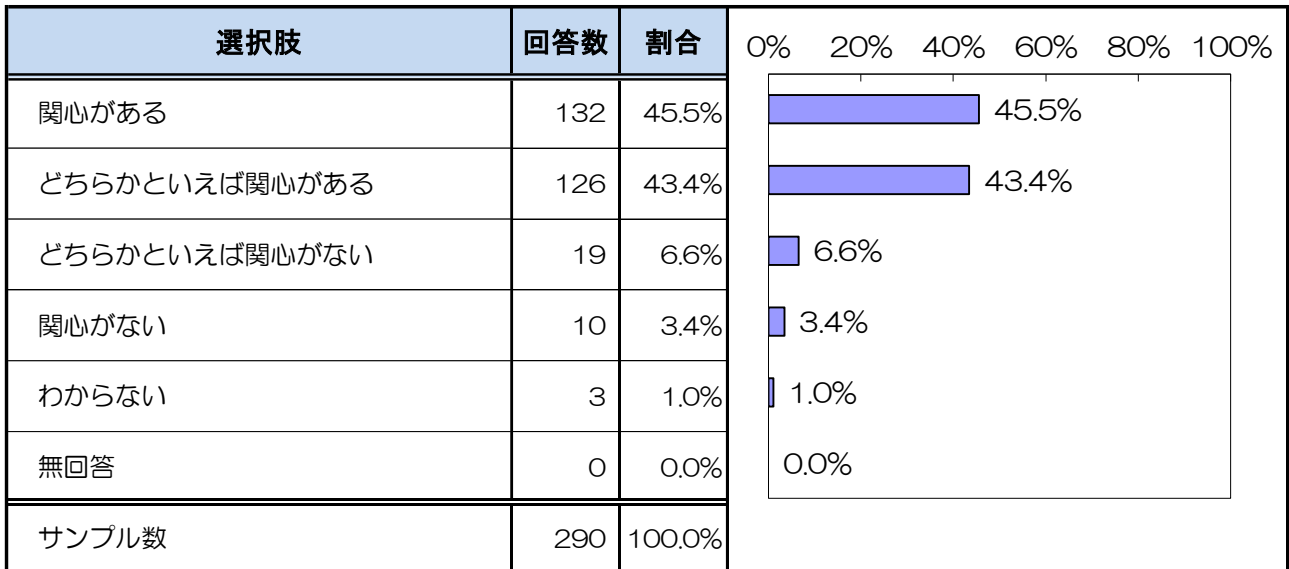
「農林漁業体験」に参加したことがある方（「全体を通じた体験をしたことがある」「収穫体験など部分的にしたことがある」と回答した方）は58.3%であり、知識はあるが実践まで至っていない方もいることが分かりましたので、本市の食育推進計画に基づきより一層食育の推進に取り組んでまいります。

「かごしま食育フェスタ」について、「知っている」と回答した方は30.7%であり、そのうち「行ったことがある」と回答した方は28.1%でした。この結果を受け、より一層広報に力を入れるとともに、イベントの内容や対象等を整理し、食に関する学習や体験を通じたイベントの企画・運営に取り組んでまいります。

3. 調査結果

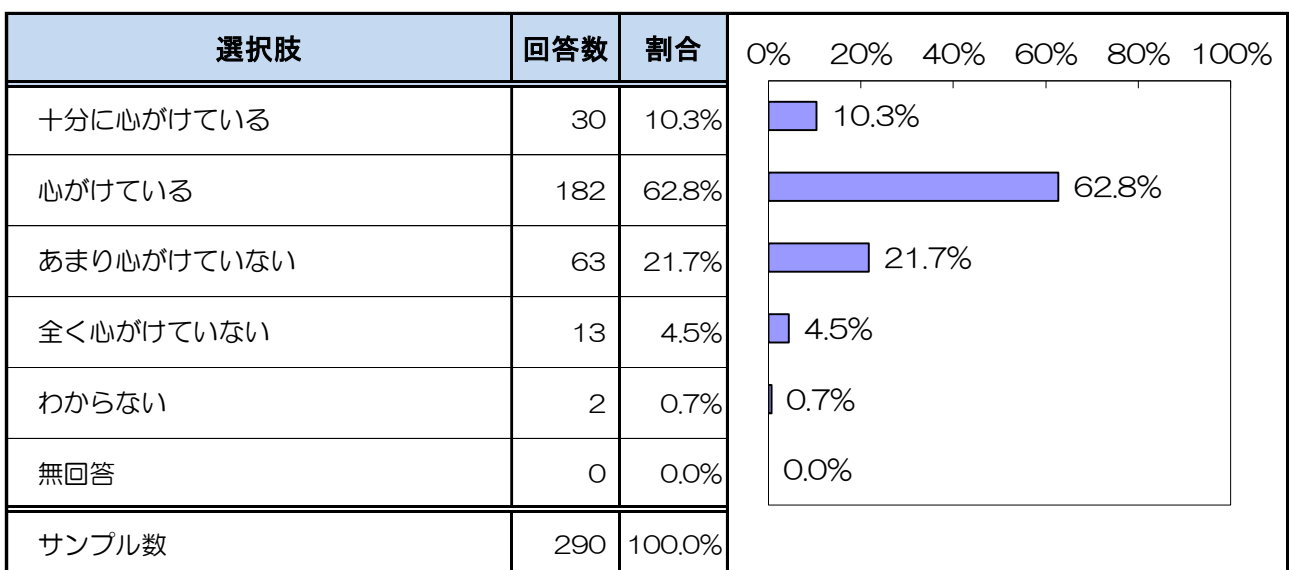
問 13 あなたは、食生活に気を配ることや、食に関する知識などを学ぶ「食育」に関心がありますか。(ひとつだけ)

「関心がある」が 45.5%と最も高く、次いで、「どちらかといえば関心がある」の 43.4%、「どちらかといえば関心がない」の 6.6%の順となっている。



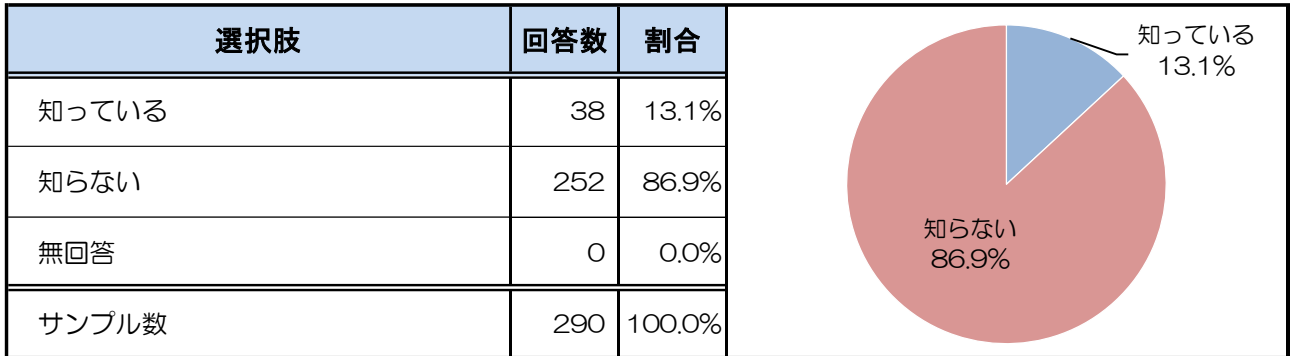
問 14 あなたは、栄養バランス（主食・主菜・副菜をそろえて食べる）等に気をつけた食生活を心がけていますか。(ひとつだけ)

「心がけている」が 62.8%と最も高く、次いで、「あまり心がけていない」の 21.7%、「十分に心がけている」の 10.3%の順となっている。



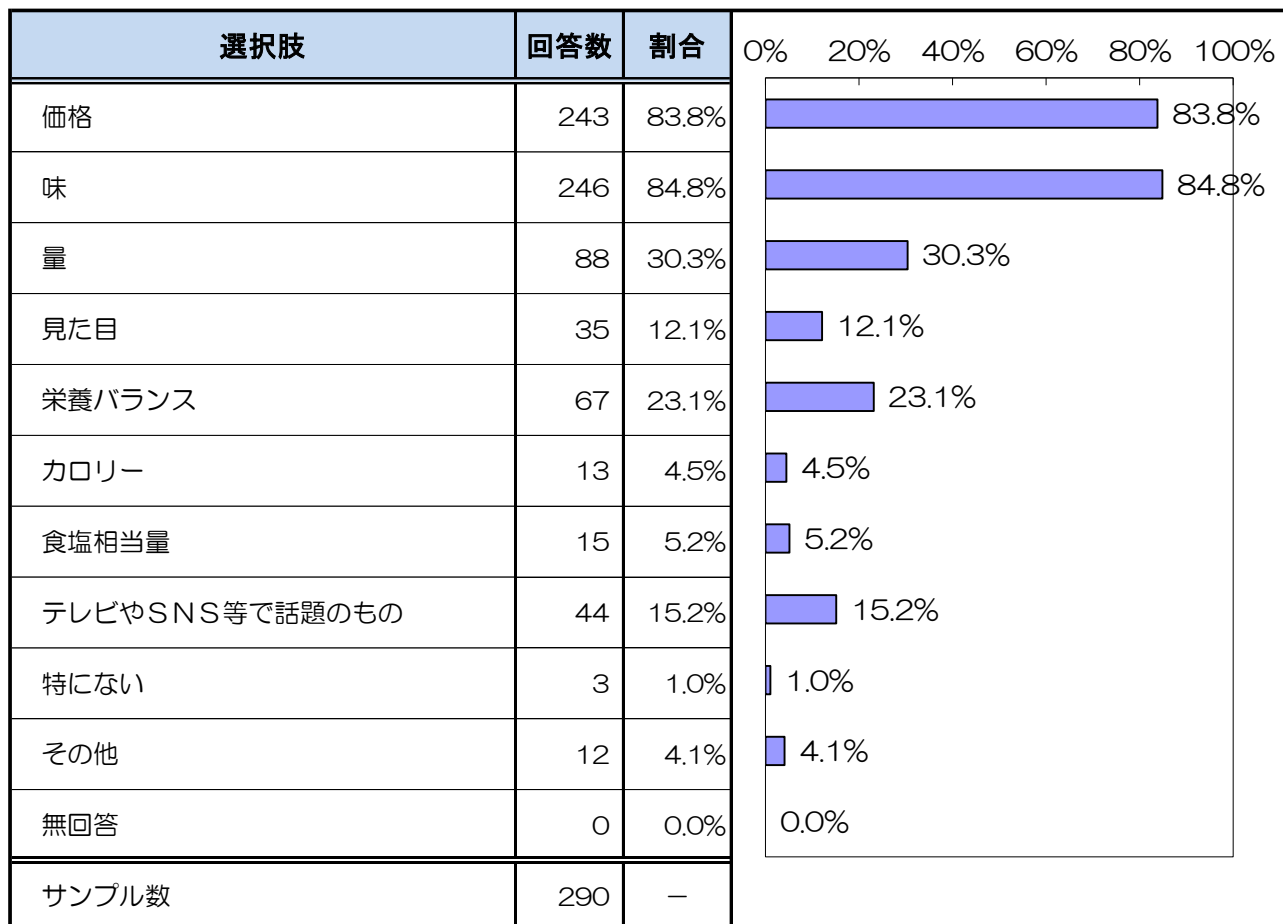
問 15 あなたは、「かごしま食の健康応援店」のお店についてご存じですか。
(ひとつだけ)

「知っている」が13.1%、「知らない」が86.9%となっている。



問 16 あなたは、飲食店で外食する際に、どのような点を重視していますか。
(3つまで)

「味」が84.8%と最も高く、次いで、「価格」の83.8%、「量」の30.3%の順となっている。



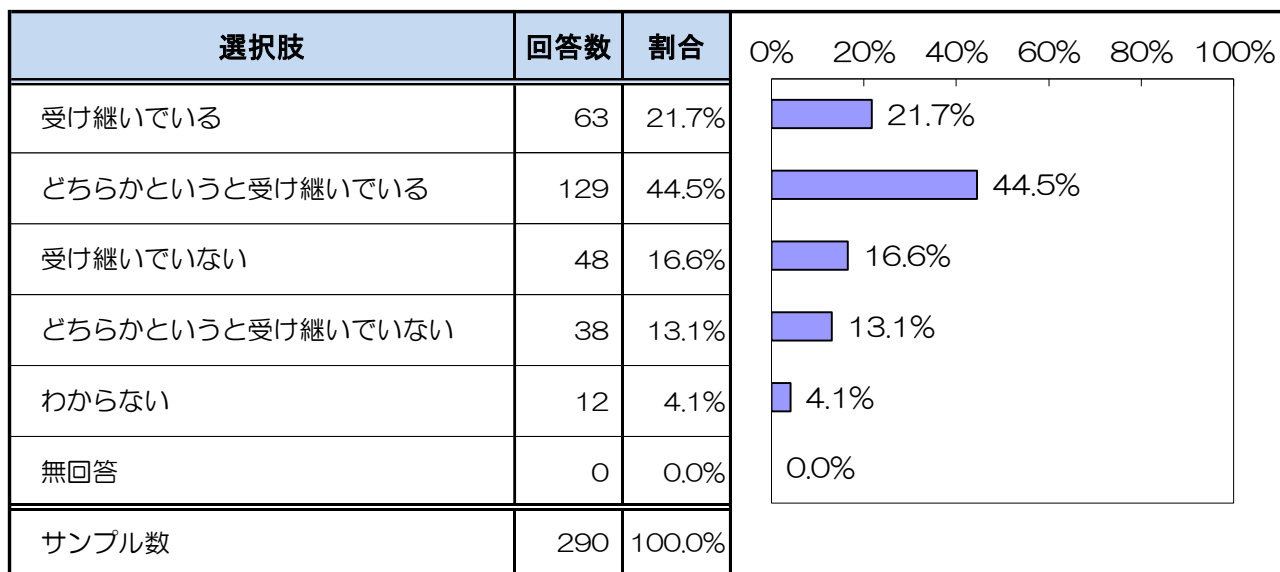
◆その他の回答（原文まま）

- ・ そのつどの気分
- ・ 外食は、10年間していません。セキュリティ対策です。
- ・ 感染対策されているか
- ・ 子供が食べたいと言う物
- ・ 時間、込み具合
- ・ 通院先の病院のコロナに関する規定で外食出来ないので、コロナ禍以降は外食していません。
- ・ 店の空間デザイン、店員のサービス度
- ・ 店の様子
- ・ 店主の人柄を含めた店の雰囲気
- ・ 店内の雰囲気、接客、客層
- ・ 未就学児と一緒に食事ができる
- ・ 有機野菜、遺伝子組換えでない

問 17 あなたは、箸づかいなどの食べ方・作法、郷土料理や伝統的な料理・味などを受け継いでいますか。(ひとつだけ)

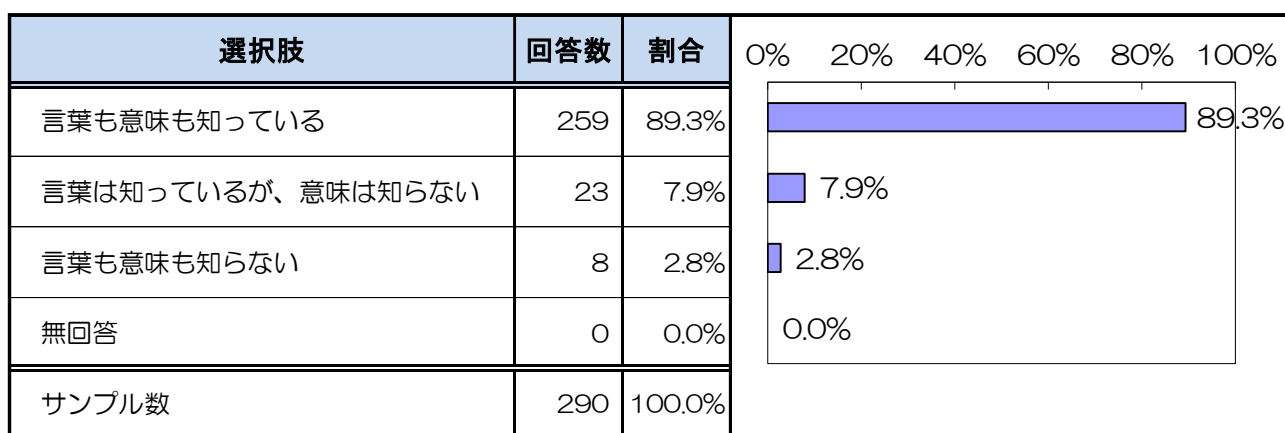
※学校や地域の人、保育所や学校等で教えてもらったことも含みます。

「どちらかという受け継いでいる」が 44.5%と最も高く、次いで、「受け継いでいる」の 21.7%、「受け継いでいない」の 16.6%の順となっている。



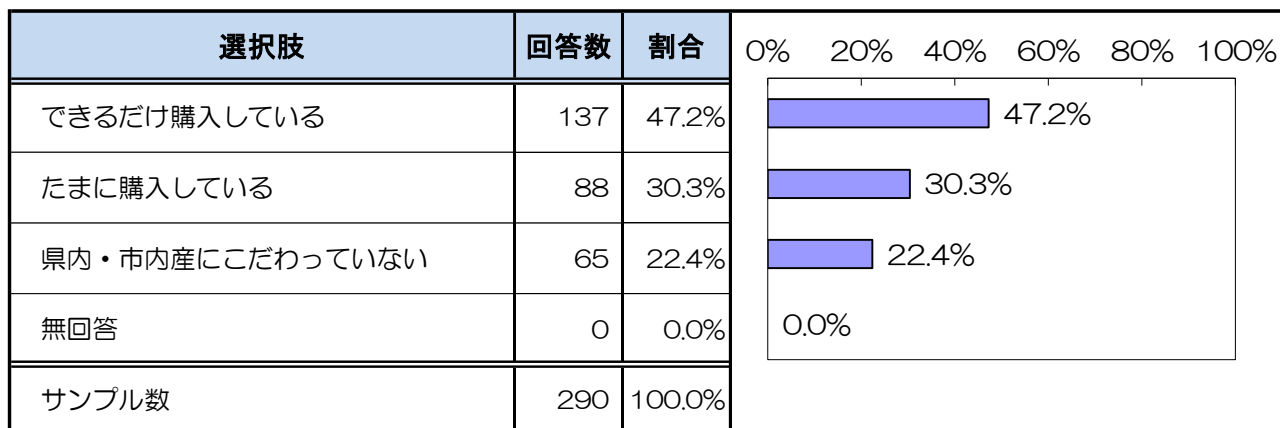
問 18 あなたは、「地産地消」(地域でとれたものをその地域で消費すること)についてどの程度知っていますか。(ひとつだけ)

「言葉も意味も知っている」が 89.3%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が 7.9%、「言葉も意味も知らない」が 2.8%となっている。



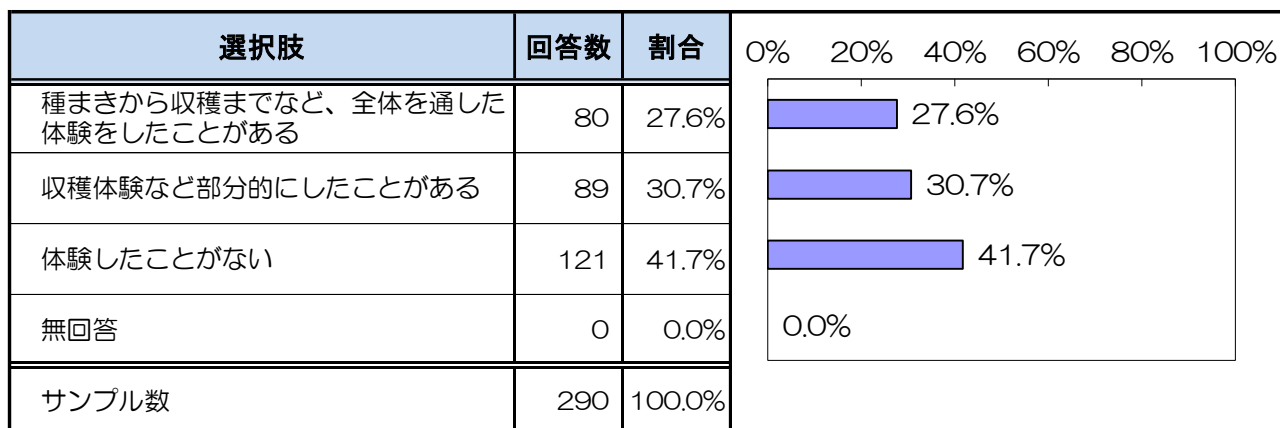
問 19 あなたは、農畜産物・水産物を購入する際、地場産物（鹿児島県内産、市内産）を優先して購入していますか。（ひとつだけ）

「できるだけ購入している」が 47.2%、「たまに購入している」が 30.3%、「県内・市内産にこだわっていない」が 22.4%となっている。



問 20 あなたは、これまでに「農林漁業体験」に参加したことがありますか。（ひとつだけ）

「種まきから収穫までなど、全体を通した体験をしたことがある」が 27.6%、「収穫体験など部分的にしたことがある」が 30.7%、「体験したことがない」が 41.7%となっている。

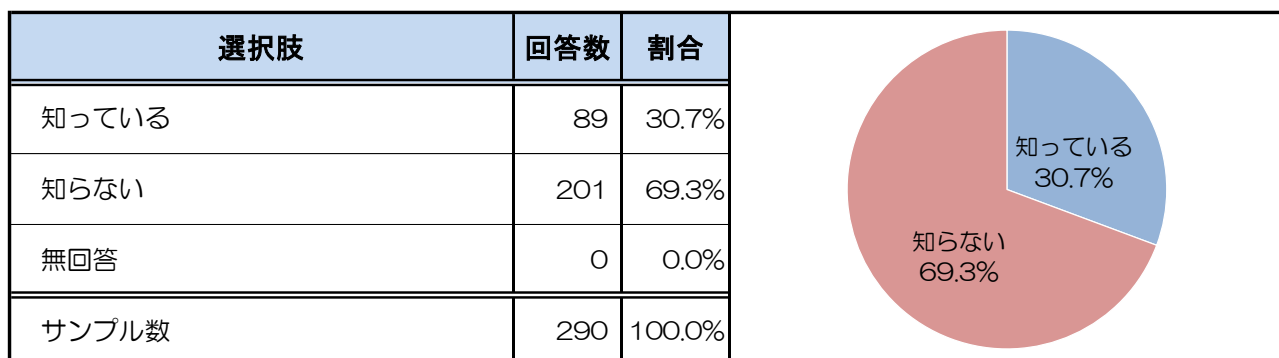


問 21 あなたは、「かごしま食育フェスタ」についてご存じですか。

(ひとつだけ)

※「かごしま食育フェスタ」とは、「食」でつながろう元気なかごしまをテーマに、展示・体験・物販のブースがある食育に関するイベントです。

「知っている」が30.7%、「知らない」が69.3%となっている。

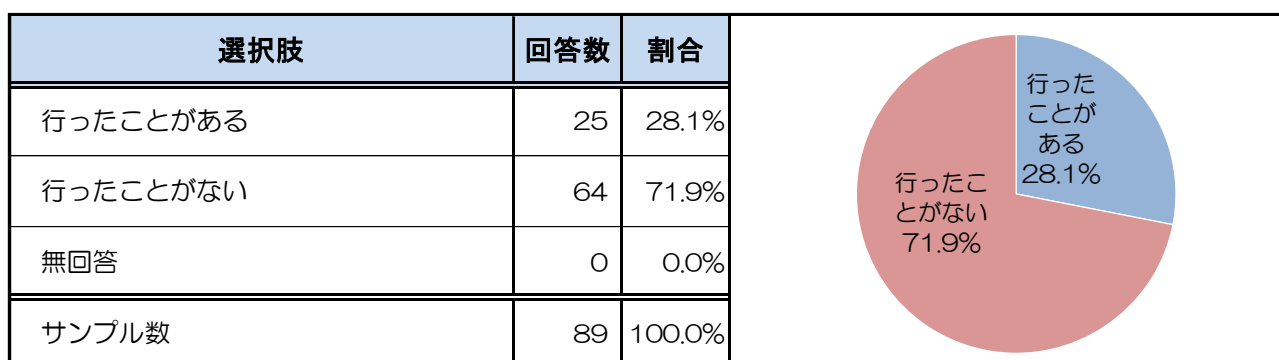


問 22 【問21で「知っている」を選んだ方へお伺いします。】

あなたは、「かごしま食育フェスタ」に行ったことがありますか。

(ひとつだけ)

「行ったことがある」が28.1%、「行ったことがない」が71.9%となっている。



問 23 食育に関するイベント（かごしま食育フェスタ等）について、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。（任意回答）

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

回答内容	性別	年代	地域
子供と共に学べて、食に対する意識が高まるイベントに参加出来ると有りがたいです。	男	40歳代	谷山地域
鹿児島県産の畜産物・水産物等を県民の方に食べて貰えるような推進や、栄養バランスの取れたおすすめの献立を知れる機会が増えると良いと思います。	男	29歳以下	吉野地域

IV ペットに関する意識調査について

1. 調査の目的

本市では、人と動物の調和のとれた共生社会を実現するため、令和2年度に「鹿児島市動物の愛護及び管理に関する条例」を制定し、ペットの飼い主に対し、適正な飼養・管理に関する啓発を行っています。ペットは、飼い主にとって、家族の一員である一方で、トラブルの原因になることもあり、人とペットが社会で共生するためには、周囲の方々への配慮が必要となっています。

今回、ペットを飼っている方、飼っていない方、それぞれのご意見をお聞きし、今後の動物愛護管理行政の推進に役立てていきたいと考え、市民のみなさまにペットに関する意識調査を行いました。

2. 調査結果を受けて担当課（生活衛生課）からのコメント

災害時のペットとの避難や市営のドッグランの設置などについて、意識調査を実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

災害時に飼い主が避難する場合には、ペットと一緒に避難する同行避難が原則となっていることについては、「知っている」が29.0%、「知らない」が71.0%となりました。また、避難所にペットを連れてきた際に、飼い主に求めることとして、「ワクチン接種やノミダニ駆除などの衛生管理をしておくこと」が68.6%、「動物が苦手な方、動物アレルギーのある方へ配慮すること」が68.3%、「人に迷惑をかけないようにしつけをしておくこと」が56.2%となり、衛生管理や他の避難者への配慮が求められていることが分かりました。

市営のドッグランの設置については、「必要」が28.6%、「必要ない」が20.3%、「わからない」が51.0%となり、必要だと思う主な理由としては、「犬の運動の場を増やしたいから」、「適切な飼育の啓発の場になるから」となった一方で、必要ないと思う理由では、「設備や管理に費用がかかると思うから」、「民間のドッグランで十分だと思うから」、「フン尿の放置など、飼い主のマナーが守られないことが心配だから」となり、ドッグラン設置に係る経費や設置の必要性のほか、飼い主のマナーに関する意見がありました。

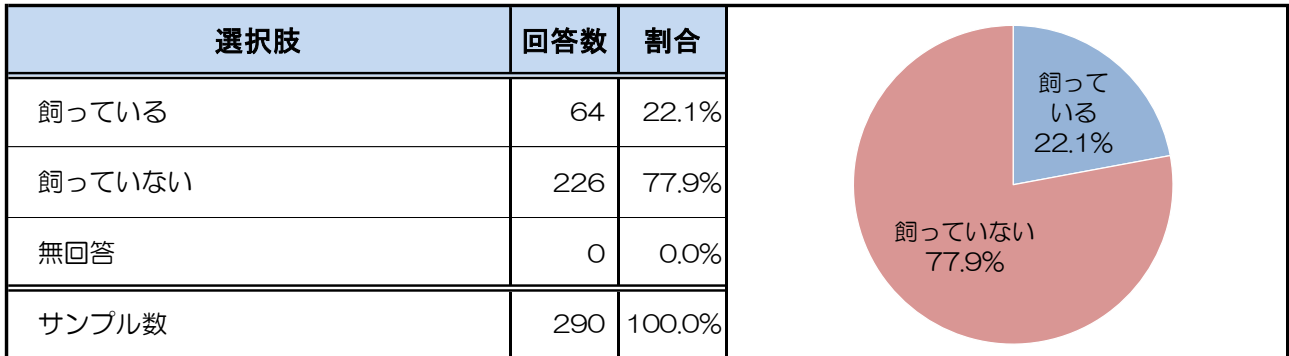
また、市が行う動物愛護管理に関する取組みで特に力を入れてほしいものは、「犬猫殺処分ゼロの継続」が48.6%、「動物愛護管理センターの犬猫の譲渡の促進」が39.7%となり、市民のみなさまの動物愛護への関心の高さがうかがえました。

今回の調査結果を踏まえ、人と動物の共生社会の実現に向け、引き続き、動物愛護管理行政の推進に取り組んでまいります。

3. 調査結果

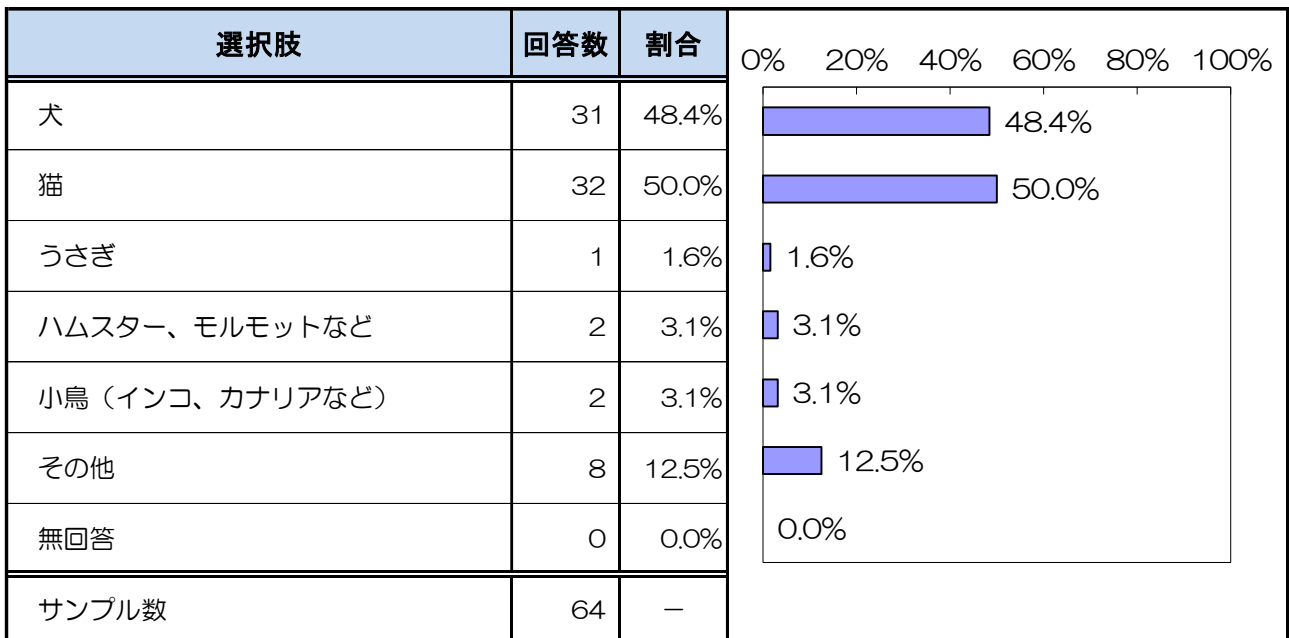
問 24 あなたのご家庭では、ペットを飼っていますか。(ひとつだけ)

「飼っている」が22.1%、「飼っていない」が77.9%となっている。



問 25 【問 24 で飼っていると答えした方に伺います。】どのようなペットを飼っていますか。(いくつでも)

「猫」が50.0%と最も高く、次いで、「犬」の48.4%、「その他」の12.5%の順となっている。



◆その他の回答（原文まま）

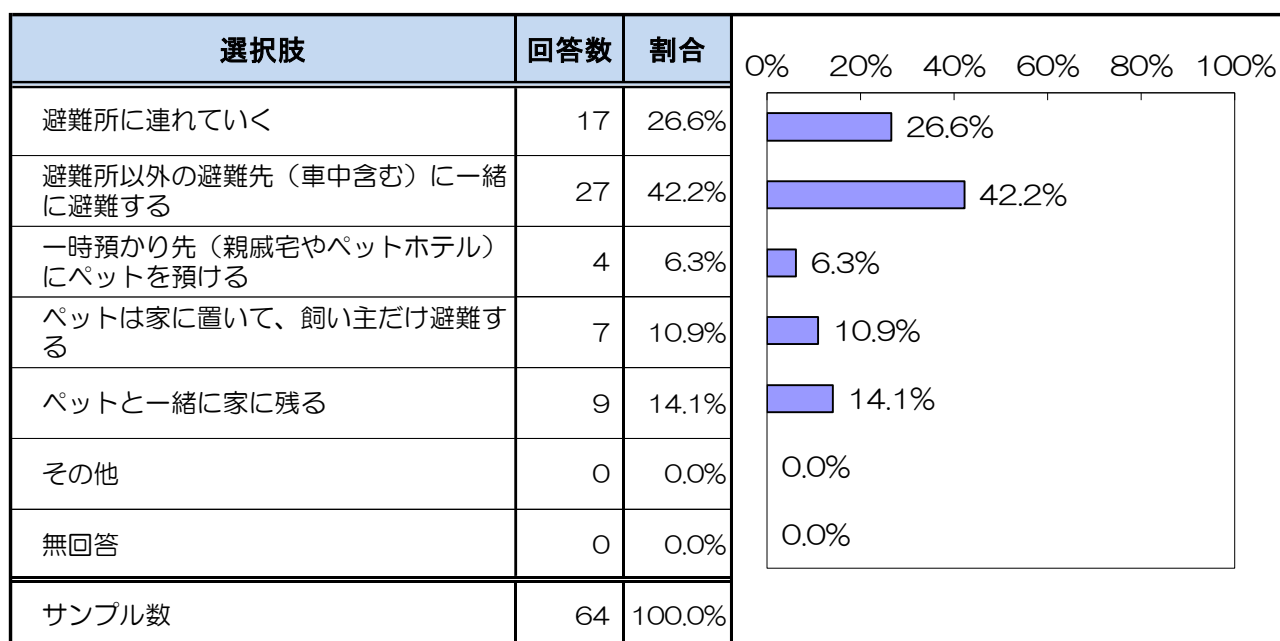
- ・魚（2件）
- ・メダカ（2件）
- ・亀
- ・亀、熱帯魚
- ・亀、金魚、メダカ

・金魚

問 26 【災害時のペットとの避難について】【問 24 で飼っているとお答えした方に伺います。】地震や風水害などで避難が必要になった場合、ペットをどうしますか。

(ひとつだけ)

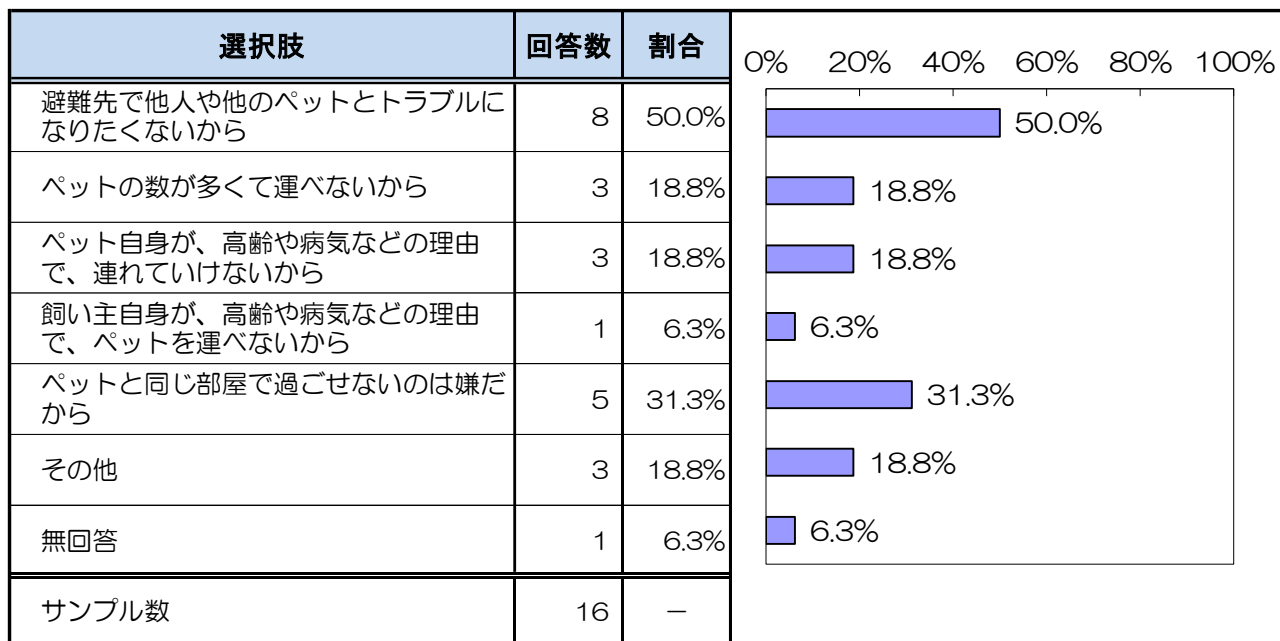
「避難所以外の避難先（車中含む）と一緒に避難する」が 42.2%と最も高く、次いで、「避難所に連れていく」の 26.6%、「ペットと一緒に家に残る」の 14.1%の順となっている。



問27 【問26で「ペットは家に置いて、飼い主だけ避難する」、「ペットと一緒に家に残る」とお答えした方にお伺いします。】

理由を教えてください。(いくつでも)

「避難先で他人や他のペットとトラブルになりたくないから」が50.0%と最も高く、次いで、「ペットと同じ部屋で過ごせないのは嫌だから」の31.3%、「ペットの数が多くて運べないから」「ペット自身が、高齢や病気などの理由で、連れていけないから」の18.8%の順となっている。



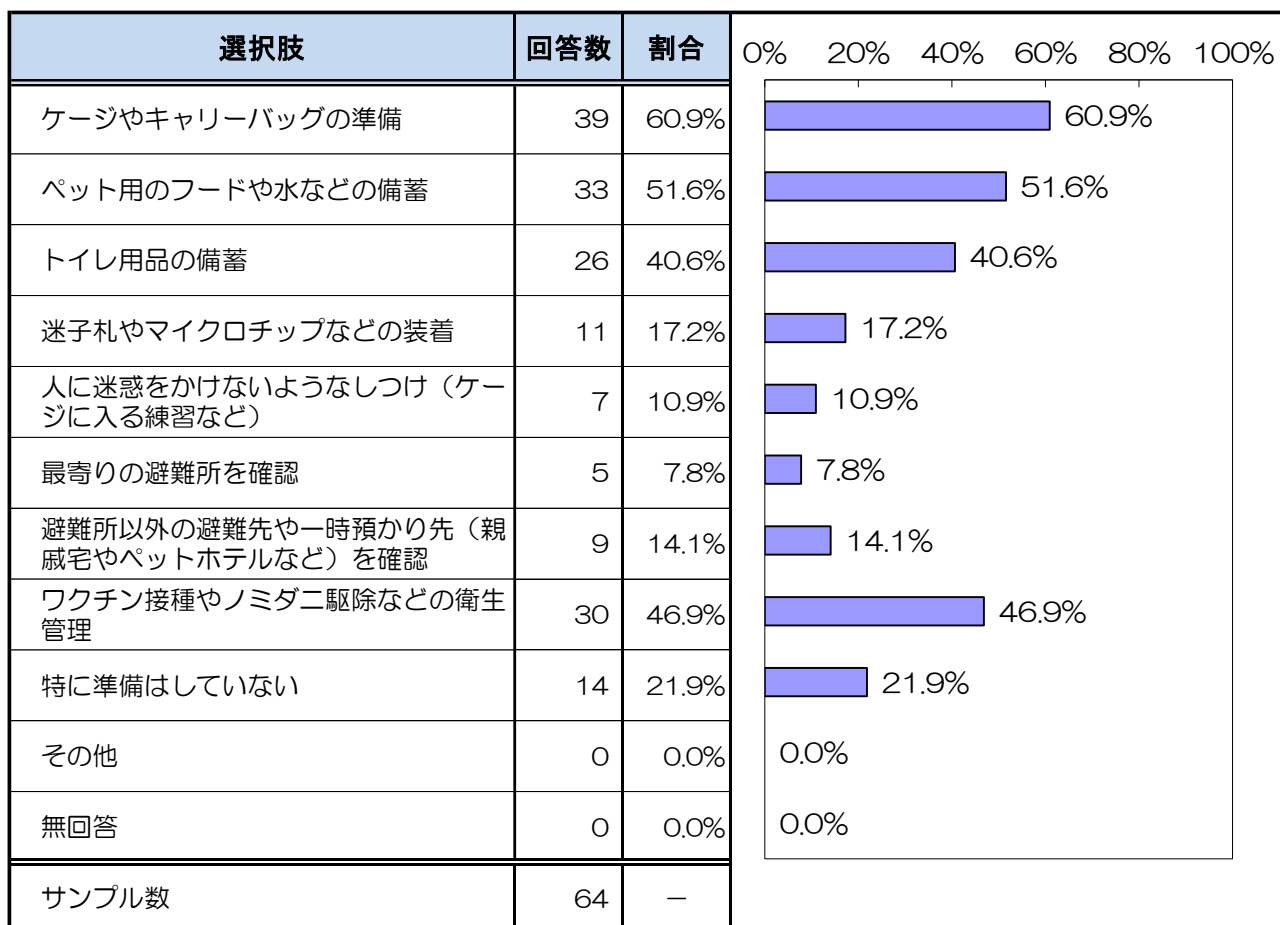
◆その他の回答（原文まま）

- ・めだかは連れて行けない。
- ・我が家のペットはケージ入りを大層嫌い、また、知らない人と知らない場所を非常に恐れるので、他所へ連れて行くことはできない。
- ・避難先ではペットは連れていけないもんだ(ペット不可)と思っているため。

問 28 【問 24 で飼っているとお答えした方に伺います。】災害が起きた場合に備え、ペットのための防災対策をしていますか。

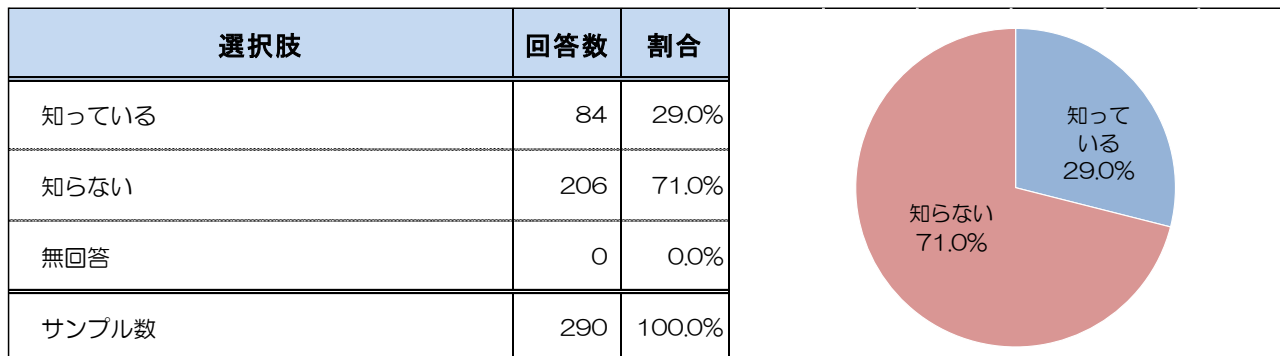
(いくつでも)

「ケージやキャリーバッグの準備」が 60.9%と最も高く、次いで、「ペット用のフードや水などの備蓄」の 51.6%、「ワクチン接種やノミダニ駆除などの衛生管理」の 46.9%の順となっている。



問 29 災害により避難する場合、飼い主は、飼っているペットと一緒に避難する同行避難が原則となっていることを知っていますか。(ひとつだけ)

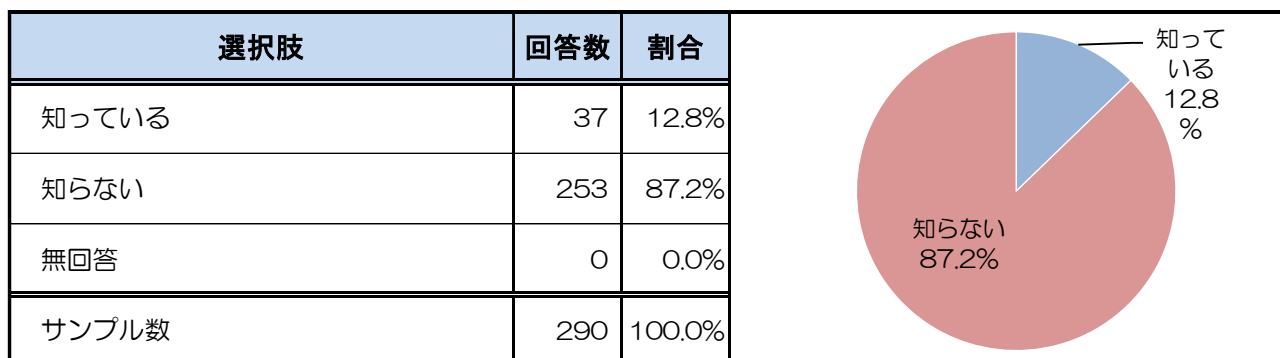
「知っている」が29.0%、「知らない」が71.0%となっている。



問 30 鹿児島市では、市が指定している全ての避難所で同行避難を受け入れていることを知っていますか。(ひとつだけ)

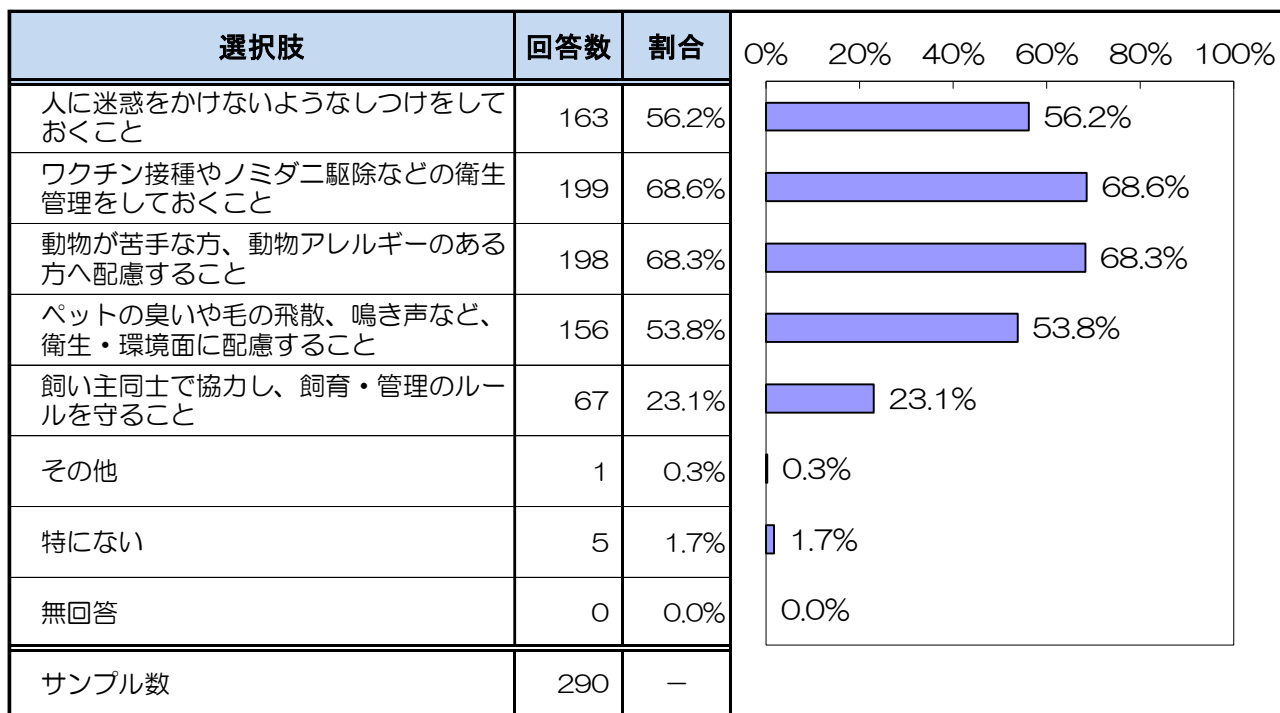
※ペットは人が過ごすスペースとは別の場所で過ごします。

「知っている」が12.8%、「知らない」が87.2%となっている。



問 31 避難所において、ペットの飼い主に求めることは何ですか。(3つまで)

「ワクチン接種やノミダニ駆除などの衛生管理をしておくこと」が 68.6%と最も高く、次いで、「動物が苦手な方、動物アレルギーのある方へ配慮すること」の 68.3%、「人に迷惑をかけないようにしつけをしておくこと」の 56.2%の順となっている。



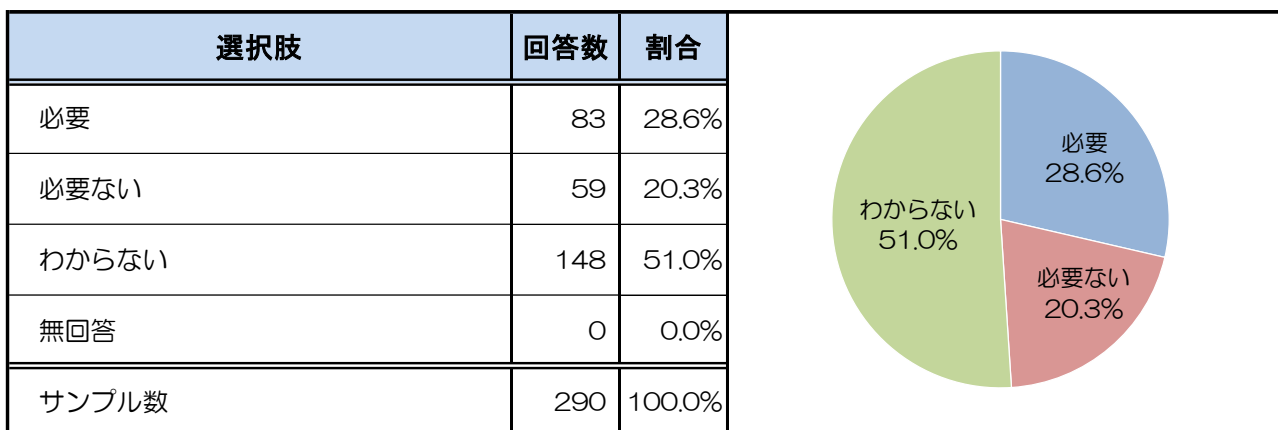
◆その他の回答（原文まま）

- ・避難先ではペットは連れていけないもんだ(ペット不可)と思っているため。

問 32 【市営のドッグランの設置について】

現在、鹿児島市内には、民間が営業しているドッグランのほか、イベント等で一時的に設置されるドッグランなどがあります。あなたは、新たに、市営のドッグランの設置が必要だと思いますか。(ひとつだけ)

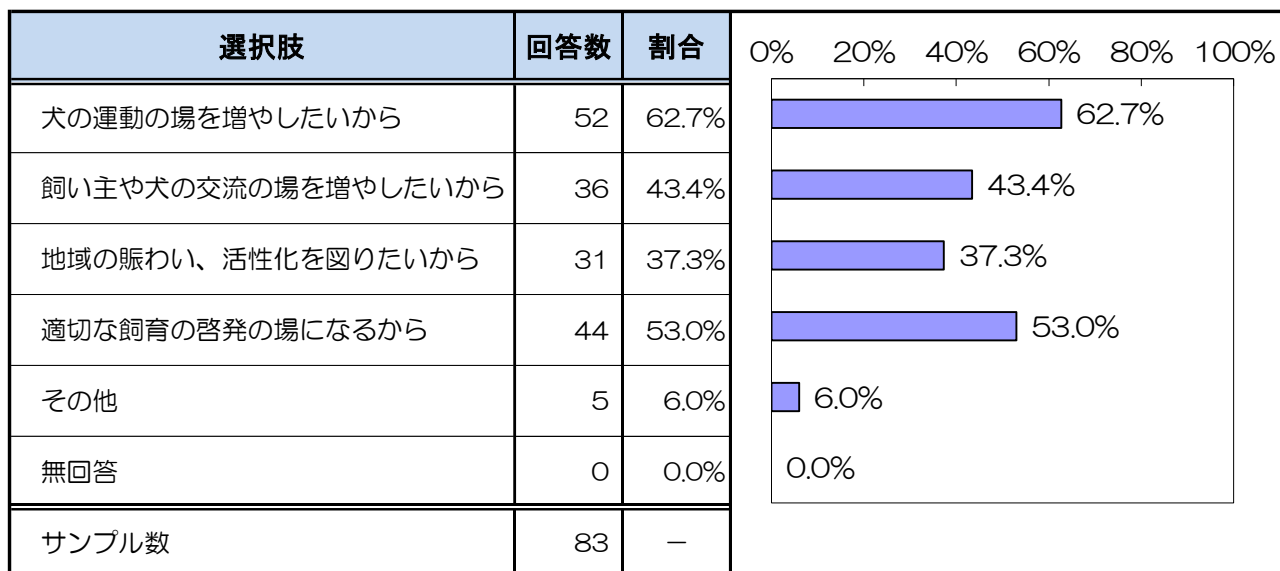
「必要」が28.6%、「必要ない」が20.3%、「わからない」が51.0%となっている。



問 33 【問 3 2 で「必要」とお答えした方にお伺いします。】

必要と思われる理由を教えてください（いくつでも）

「犬の運動の場を増やしたいから」が 62.7% と最も高く、次いで、「適切な飼育の啓発の場になるから」の 53.0%、「飼い主や犬の交流の場を増やしたいから」の 43.4% の順となっている。



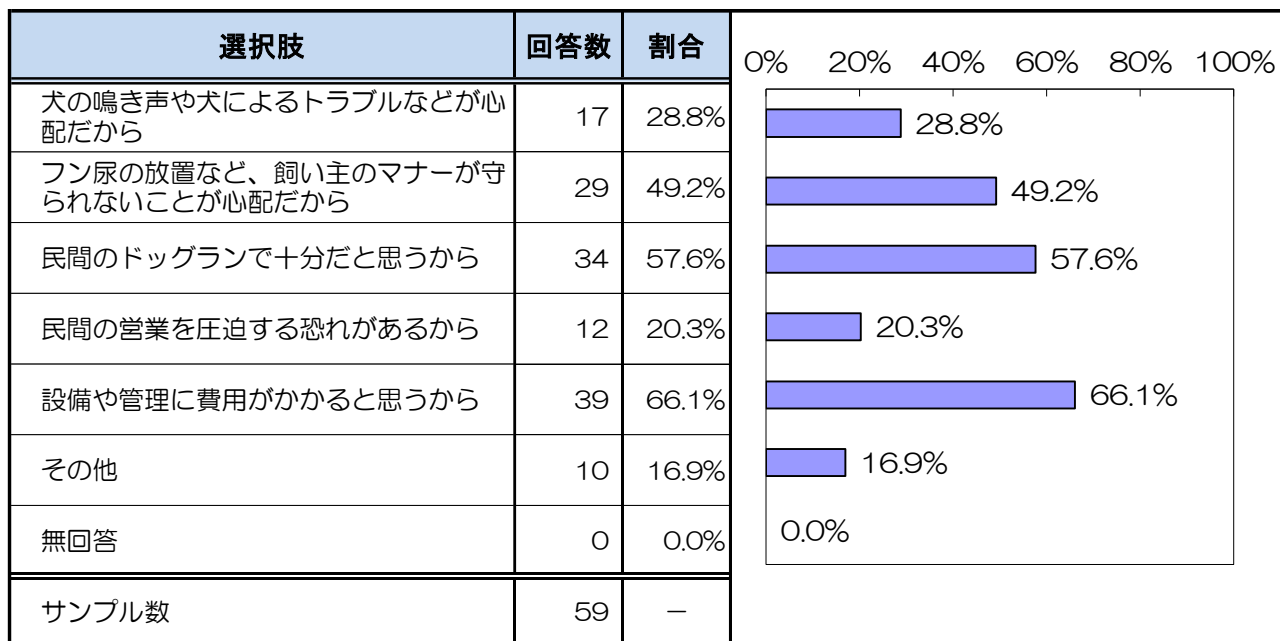
◆その他の回答（原文まま）

- ・アレルギーなどある方への配慮
- ・動物愛護の理念から必須である
- ・ペットを飼うことが生き甲斐になっている人の暮らしやすさを確保する必要があるから
- ・犬がのびのび遊べるドッグランが市内にほぼないため。
- ・谷山の高架下の遊歩道で、ペットの排泄物が処理不十分で頻繁に見ることがあるため。

問 34 【問 3 2 で「必要ない」とお答えした方にお伺いします。】

必要ないと思われる理由を教えてください。(いくつでも)

「設備や管理に費用がかかると思うから」が 66.1%と最も高く、次いで、「民間のドッグランで十分だと思うから」の 57.6%、「フン尿の放置など、飼い主のマナーが守られないことが心配だから」の 49.2%の順となっている。

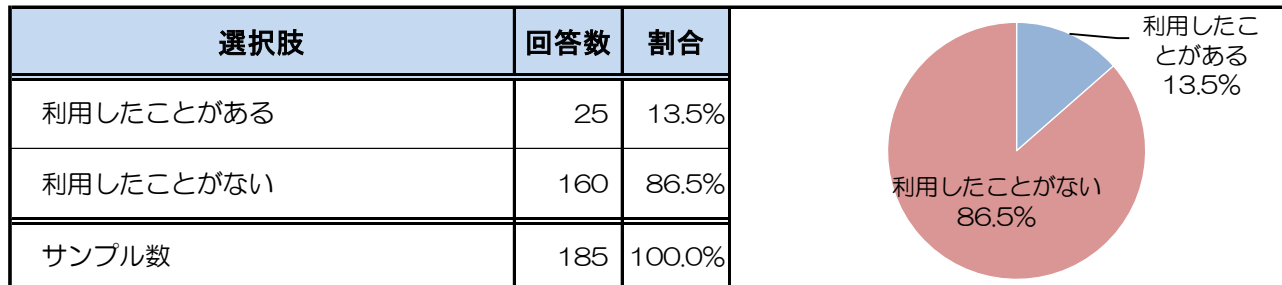


◆その他の回答 (原文まま)

- ・犬を飼ったことないのでよく知りません
- ・キレイだから
- ・ぜんそくの発作がひどく、のどがいがいがするからです。
- ・なぜ必要？ 普段の散歩では不十分でしょうか？
- ・利用している人を見かけない
- ・市営にする理由はなんですか？
- ・鹿児島市（自治体）としてペットを飼っている飼い主から、ペット税を徴収するべきです。鹿児島市として活動するなら、税の徴収を行ってから、その税収でドッグランなどの設備の建設、維持管理を行って下さい。ペットを飼っていない人間を巻き込まないで下さい。
- ・税金を使ってまで整備する必要があるのか疑問があるから
- ・動物が苦手なので
- ・民間でされているところがあるのであれば、わざわざしなくてもよいと思う。もし作るとなれば、1ヶ所というわけにもいかないだろうし、経済的な負担が大きいのでは。

問 35 【犬を現在飼っている方、または以前飼っていた方にお伺いします。】
今までにドッグランを利用したことがありますか。(ひとつだけ)

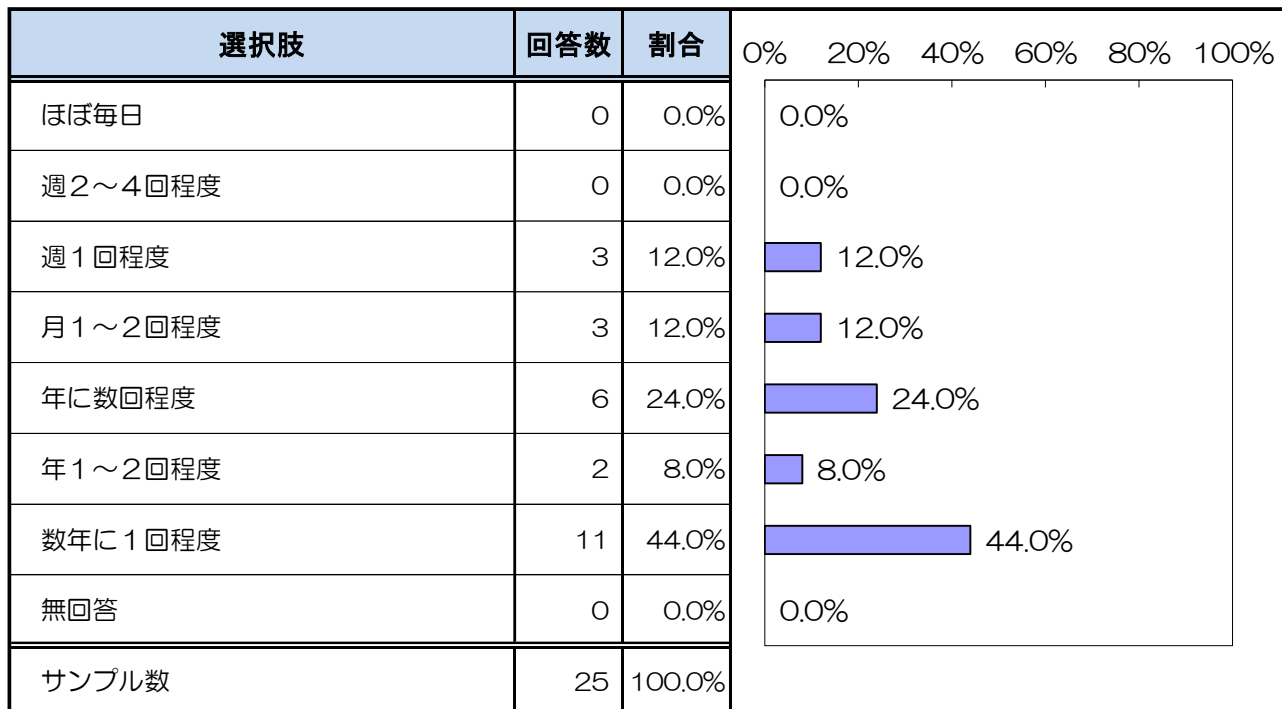
「利用したことがある」が13.5%、「利用したことがない」が86.5%となっている。



※ 回答している方のみ抽出しています。

問 36 【問35で「利用したことがある」とお答えした方にお伺いします。】
どのくらいの頻度でドッグランを利用していますか？または、利用して
いましたか？(ひとつだけ)

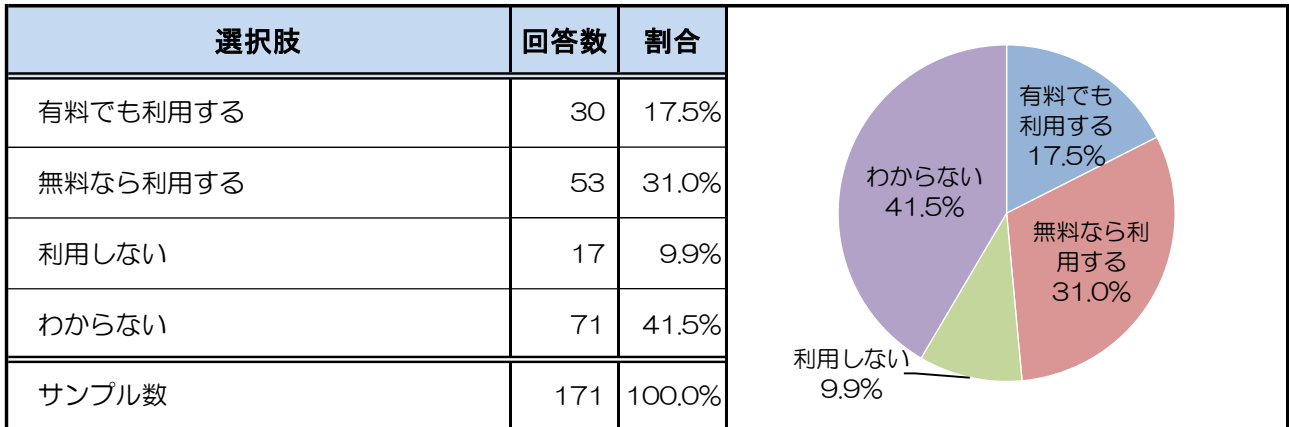
「数年に1回程度」が44.0%と最も高く、次いで、「年に数回程度」の24.0%、「週1回程度」
「月1～2回程度」の12.0%の順となっている。



問 37 【犬を現在飼っている方、またはこれから飼う予定がある方にお伺い
 します。】

市営のドッグラン施設が設置された場合に利用しますか？（ひとつだけ）

「わからない」が 41.5%と最も高く、次いで、「無料なら利用する」の 31.0%、「有料でも利用する」の 17.5%の順となっている。

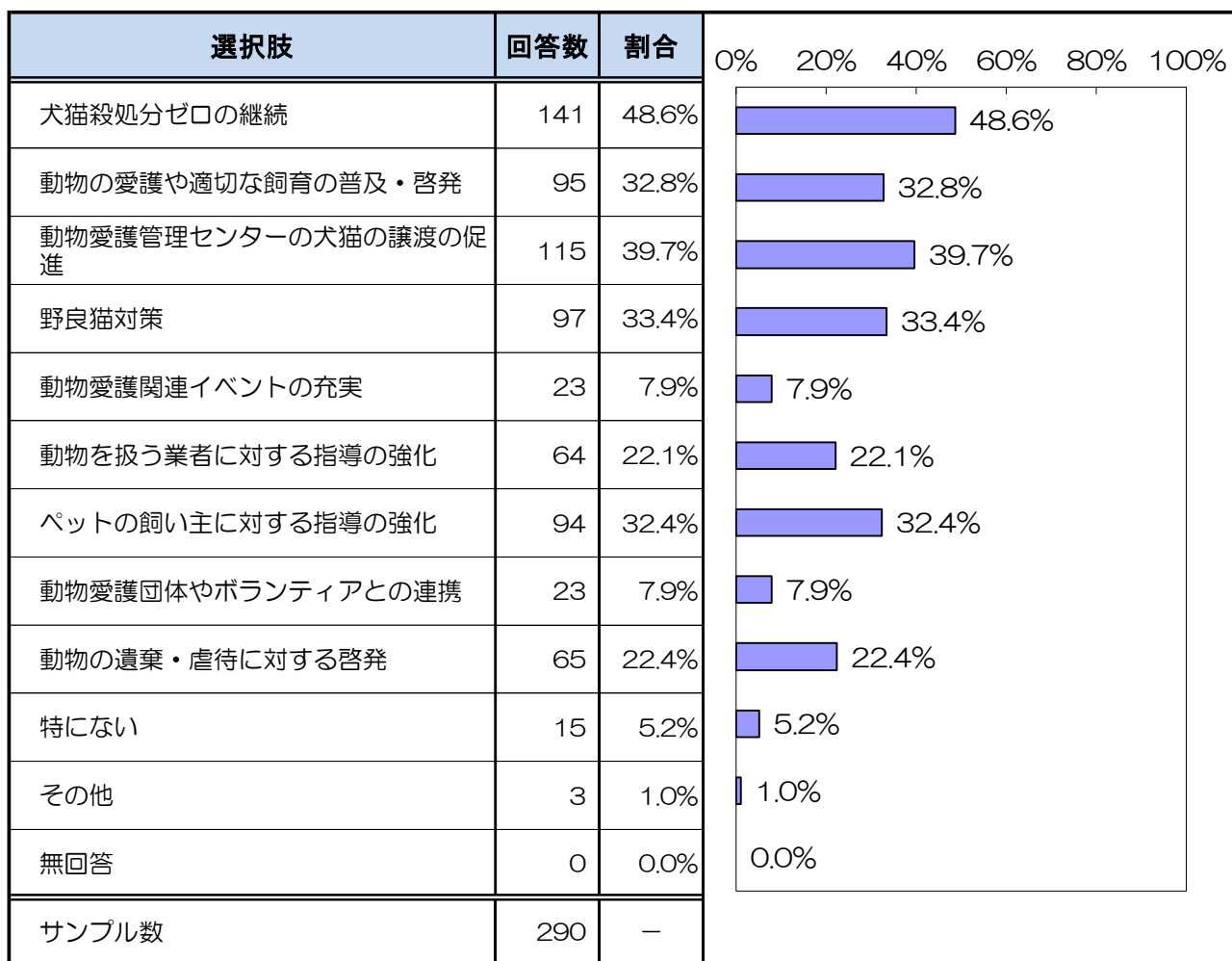


※ 回答している方のみ抽出しています。

問 38 【市が行う動物愛護管理に関する取組みについて】【問 38 からはすべての方にお伺いします。】

動物愛護について特に力を入れてほしい取組みは何ですか。(3つまで)

「犬猫殺処分ゼロの継続」が 48.6%と最も高く、次いで、「動物愛護管理センターの犬猫の譲渡の促進」の 39.7%、「野良猫対策」の 33.4%の順となっている。



◆その他の回答（原文まま）

- ・チップを体内に入れず、識別する方法を見出し管理すること。
- ・ペットに優しい都道府県のランキングだと鹿児島市は全国的にかなり低いので、ペットを飼う人にも魅力的な自治体になって欲しいと望みます。
- ・糞尿問題に対する罰則を設けてほしい

問 39 鹿児島市の動物愛護管理行政について、ご意見・ご提案等ございましたら自由にご記入ください。(任意回答)

◆回答一覧 (一部抜粋・原文まま)

回答内容	性別	年代	地域
犬の登録及び狂犬病予防注射時に、条例リーフレットを必ず配布し犬の適正管理に努めてもらいたい。	男	70歳以上	伊敷地域
何匹も買っているのに衛生的管理ができていない家庭への指導や対策をしてもらいたい	女	30歳代	谷山地域
金銭的に余裕が無くペットを飼うことができない家庭や、賃貸事情で飼えない家庭もある中で、市営のドッグランは必要ないと思います。ペットを飼われてる方は金銭的な負担があることは承知で飼われているはずです。ペットのために使う税金があるなら、子育てや福祉に回して欲しいです。野良猫や野良犬が少しでも減る為の保護施設なら必要だと思いますが。	女	40歳代	谷山地域
野良猫対策をどのように行っているのか、大々的に市報で知らせてほしいと思う。かわいそうだからと言って餌をあげるとどうなるかも告知したほうがいいと思う。繁殖の時期になると、近所で毎年ネコの大合奏が始まる(ペットの猫も含めて)ので、何とかしてほしいと思う。	女	40歳代	谷山地域